

ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング/ コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

SHIMANO STEPS E8080 シリーズ

SC-E6010
SC-E6100
SC-E7000
EW-EN100
SW-E7000-L
SW-E7000-R
SW-E6010-L
SW-E6010-R
SW-E6000
RD-M8050
FC-E8050
FC-E8000
SM-CRE80
SM-CRE80-B
SM-CRE80-12-B
DU-E8080
SM-DUE11
SM-DUE80-A
SM-DUE80-B
BT-E8010
BT-E6010
BM-E8010
BM-E6010
RT-EM300

RT-EM600
RT-EM800
RT-EM810
RT-EM900
RT-EM910

目次

重要なお知らせ	vii
安全のために	viii
1章 使用工具一覧	1-1
使用工具一覧	1-2
2章 取付け	2-1
各部の名称	2-2
製品仕様	2-3
サイクルコンピューターの取付けと取外し (SC-E7000)	2-4
サイクルコンピューターの取付けと取外し (SC-E6010/SC-E6100) ..	2-5
取付け	2-5
取外し	2-6
サイクルコンピューターの角度調整 (SC-E6010/SC-E6100)	2-7
ジャンクション (A) の取付けと取外し (EW-EN100)	2-7
エレクトリックワイヤーの取扱いについて	2-9
スイッチユニットの取付け	2-10
SW-E6010/SW-E6000の取付け	2-10
SW-E7000の取付け	2-11
エレクトリックワイヤーの取回し例 (SC-E6010/SC-E6100)	2-12
エレクトリックワイヤーの取回し例 (SC-E7000)	2-12
エレクトリックワイヤーの取回し例 (EW-EN100)	2-13
バッテリーマウントの取付け	2-14
BM-E8010	2-14
BM-E6010	2-18

バッテリーの取付け/取外し.....	2-20
鍵の使い方.....	2-20
バッテリーの取付け.....	2-21
バッテリーの取外し.....	2-22
スピードセンサーの取付け.....	2-22
磁石の取付け.....	2-22

3章 ドライブユニットの取付けと配線 3-1

ドライブユニットの取付け.....	3-2
ドライブユニット配線図.....	3-3
電源コードの接続.....	3-4
ドライブユニットへの接続.....	3-4
ドライブユニットからの取外し.....	3-4
サイクルコンピューターおよびスイッチ関連と ドライブユニットの接続 (SC-E6010/SC-E6100).....	3-5
サイクルコンピューターおよびスイッチ関連と ドライブユニットの接続 (SC-E7000).....	3-6
ジャンクション (A) とスイッチユニット、 ドライブユニットの接続 (EW-EN100).....	3-6
ドライブユニットとスピードセンサーの接続.....	3-7
ライトケーブルとドライブユニットの接続.....	3-8
クランクとチェーンリングユニットの取付け.....	3-9

4章 バッテリーの充電 4-1

バッテリーの上手な使い方.....	4-2
バッテリー単体で充電する場合.....	4-3
BT-E8010.....	4-3
BT-E6010.....	4-3

自転車に取付けた状態でバッテリーを充電する場合	4-4
充電器のLEDランプについて	4-5
バッテリーのLEDランプについて.....	4-5
充電中表示	4-5
バッテリー残量表示	4-6
エラー表示	4-6
電源ON/OFF.....	4-7
サイクルコンピューターの電源ボタンを使用する場合	4-7
バッテリーの電源ボタンを使用する場合	4-8
電源オン時の画面表示.....	4-9

5章 操作方法

5-1

基本操作	5-2
サイクルコンピューターとスイッチユニット.....	5-2
ジャンクション (A)	5-3
サイクルコンピューター/ジャンクション (A) の表示と設定.....	5-4
サイクルコンピューターの基本画面表示.....	5-4
ジャンクション (A) の基本状態表示.....	5-5
バッテリー残量表示	5-6
アシストモード.....	5-7
スイッチユニットによるアシストモードの切り替え方法	5-7
EW-EN100によるアシストモードの切り替え方法.....	5-8
走行情報の表示切り替え (SC-E6010/SC-E6100)	5-9
走行距離のリセット (SC-E6010/SC-E6100)	5-10
走行情報表示の切り替え (SC-E7000).....	5-10
走行距離のリセット (SC-E7000)	5-11
ライトの点灯と消灯 (SC-E6010/SC-E6100)	5-11
ライトのON/OFF (EW-EN100)	5-12

設定メニューの表示方法	5-13
設定メニュー画面を表示する (SC-E6010)	5-13
設定メニュー画面を表示する (SC-E6100/SC-E7000)	5-14
[Clear] 設定リセット	5-16
[Clock] 時刻設定.....	5-17
[Light] ライトのON/OFF (SC-E7000)	5-18
[Backlight] バックライト設定 (SC-E6010/SC-E6100)	5-19
[Brightness] バックライト輝度設定 (SC-E6010/SC-E6100)	5-19
[Beep] ビープ音設定.....	5-20
[Unit] km/mile切り替え.....	5-20
[Language] 言語設定.....	5-21
[Font color] フォントカラー設定.....	5-21
[Adjust] 電動変速ユニットの変速調整.....	5-22
[Shift timing] 表示タイミング設定 (SC-E6100)	5-25
[Shifting advice] 変速アドバイス設定 (SC-E6100)	5-26
[RD Protection Reset] RD プロテクションリセット	5-27
[Display speed] 表示速度の調整 (SC-E6100/SC-E7000)	5-28
[Exit] 設定メニュー画面の終了.....	5-28
ドライブユニット設定内容のバックアップ (SC-E6010)	5-29
設定モード (EW-EN100)	5-29
RD protection reset	5-29
Adjust.....	5-30
サイクルコンピューターのエラーメッセージ	5-32
警告.....	5-32
エラー	5-33
メンテナンスアラート (SC-E6100/SC-E7000)	5-34
EW-EN100のエラー表示	5-35

6章 端末との接続通信

6-1

端末との接続通信	6-2
ワイヤレスユニットについて (機能)	6-2
ワイヤレスユニットについて (接続方法)	6-3
2.4 GHzのデジタルワイヤレスシステム.....	6-3
サイクルコンピューターのドライブユニット設定バックアップ機能について	6-3
E-TUBE PROJECTで設定変更可能な項目	6-3

PCとの接続方法	6-5
ユニット単品でつなぐ場合.....	6-5
自転車への接続	6-5

7章 メンテナンス	7-1
------------------	------------

メンテナンス	7-2
クランプバンドの交換 (SC-E7000)	7-2
チェーンリングユニットの交換.....	7-2
チェーンリングの交換.....	7-3
チェーンガードの交換 (SM-CRE80 44T ダブルチェーンガード)	7-4
チェーンデバイスのガイドの交換	7-4

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けしないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル・技術資料はウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社シマノはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。(SC-E6100/SC-E7000)

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「傷害を負うことや、物理的な損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

危険

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

■バッテリーの取扱いについて

- バッテリーに直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解したりしない。液漏れ・発熱・破裂・発火の原因となります。
- バッテリーをストーブなどの熱源のそばに放置しない、またバッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしない。破裂・発火の原因となります。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない。発熱・破裂・発火の原因となります。
- バッテリーを水や海水などにつけたり、端子部をぬらしたりしない。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 指定のバッテリーを充電する際は、当社指定の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る。発熱、破裂、発火の原因となります。

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書の指示に従う。
その際、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立て、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な目の保護具を着用する。
- 本書に記載のない製品については、各製品の取扱説明書を参照する。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 走行中はサイクルコンピューターの表示に目をうばわれない。転倒事故等のおそれがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。車輪脱着レバーの使用方法を誤りますと車輪の脱落などにより転倒して大けがをすることがあります。
- 電動アシスト自転車の発進特性に十分慣れてから車通りや人通りの多い道路で乗車する。急発進して事故を起こすおそれがあります。
- 走行前に前照灯およびテールライトが点灯することを確認する。
- 製品は分解しない。分解すると、人体に危害を加えるおそれがあります。
- サイクルコンピューターは、炎天下の密閉された車内やストーブの近くなど過度の高温環境下にさらさない。バッテリーを内蔵している場合、内蔵バッテリーが破裂したり、可燃性の液体もしくは気体の流出を引き起こしたりする可能性があります。
- サイクルコンピューターは、過度の低圧下にさらさない。バッテリーを内蔵している場合、内蔵バッテリーが破裂したり、可燃性の液体もしくは気体の流出を引き起こしたりする可能性があります。航空機による輸送には問題ありません。
- 自転車にバッテリーを取付けた状態で充電する場合は、自転車を移動させない。充電器の電源プラグがコンセントに根元まで差込まれていない状態になるおそれがあり、火災の原因になります。
- 長時間連続して使用している場合、ドライブユニットに触らない。ドライブユニットの表面が高温になっており、やけどのおそれがあります。

■リチウムイオンバッテリー

- バッテリーが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。
- 充電は湿気が多い場所や、屋外ではおこなわない。感電のおそれがあります。
- プラグの抜き差しは水にぬれた状態でおこなわない。感電のおそれがあります。もしプラグ内がぬれた場合には乾燥させた後に挿してください。
- 所定充電時間を2時間超えてもなお、バッテリーを充電している場合は、直ちにコンセントを抜いて、販売店へ相談する。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 外装に目立ったキズや破損のあるバッテリーは使用しない。破裂・発熱・故障の原因となります。
- バッテリーの動作温度範囲外で使用しない。範囲外での使用、保管は、発火・障害・故障の原因となります。
 1. 放電時：-10℃～50℃
 2. 充電時：0℃～40℃

■自転車への組付け、整備に関する事項

- 自転車への配線作業、組付け作業は、必ずバッテリーおよび充電ケーブルを外した状態でおこなう。感電するおそれがあります。
- 左クランクの2本のボルトは片側を一度に締付けることなく交互に締付け、締付けトルクが12 - 14 N・mであることをトルクレンチで確認する。また、約100 km走行後にトルクレンチで締付けトルクを再確認し、その後も定期的に締付けトルクを確認する。締付けトルクが弱かったり、交互に締付けられていなかったりする場合は左クランクが外れ、転倒して重傷を負う場合があります。
- チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄する。メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。
- さび落としなどのアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しない。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負うおそれがあります。

■廃棄について

- バッテリーを内蔵しているサイクルコンピューターは、地域のルールに従って廃棄する。焼却や圧搾・切断などがおこなわれると内蔵バッテリーが爆発する可能性があります。

⚠ 注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 自転車の取扱説明書に従って、安全に走行する。
- 充電器およびアダプターが損傷していないか、特にコード、プラグおよびきょう体を定期的に確認する。充電器およびアダプターが損傷している場合、購入された販売店にご相談ください。
- 製品は、安全責任を持つ人による監督や、製品の使用指導のもとで使用する。子供を含めて身体的、感覚的、精神的能力が減少している人、または経験や知識のない人には使用させないでください。
- 製品のそばで子供を遊ばせない。
- システムの改造は絶対におこなわない。システムに異常をきたすおそれがあります。

■リチウムイオンバッテリー

- バッテリーを直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所に放置しない。バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。
- バッテリーの液が皮膚、衣類に付着した場合、直ちにきれいな水で洗い流す。皮膚に傷害を起こす原因となります。
- バッテリーは子供の手が届かない場所に保管する。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 故障あるいは異常が発生した場合は、購入された販売店にご相談ください。
- 使用していないE-TUBEポートには必ずダミープラグを取付けてください。
- 製品の取付け、調整は販売店にご相談ください。
- 製品は雨天走行に耐える防水設計になっています。ただし、水中にはつけないでください。
- 高圧洗車はおこなわないでください。水分の浸入により、故障あるいはサビの原因となります。
- 製品は丁寧に扱い、強い衝撃を与えないでください。
- 自転車を倒立させないでください。サイクルコンピューターまたはスイッチユニットが破損するおそれがあります。
- バッテリーを外した状態でも自転車として機能しますが、電気アシストシステムにライトが接続されている場合は点灯しません。この場合、ドイツにおける道路交通法を満たしませんのでご注意ください。
- 車でアシスト自転車を搬送する際は、車両からバッテリーを取出し、安定した場所に置いてください。
- バッテリーを取付ける際は、バッテリーと接続する部分(コネクタ部)に水がたまっていないことや泥が付着していないことを確認の上、接続してください。
- 自転車にバッテリーを取付けたまま直接充電する場合は、以下のことに気をつけてください。
 - 充電の際、充電ポートおよび充電器のプラグに水分が付着していないことを確認してください。
 - 充電前にバッテリーマウントにロックがかかっていることを確認してください。
 - 充電中はバッテリーマウントからバッテリーを取出さないでください。
 - 充電器を取付けたまま走行しないでください。
 - 充電時以外は、充電ポートのキャップを閉めてください。
 - 充電中に自転車が転倒しないように固定してください。
- シマノ純正バッテリーの使用を推奨します。他社製バッテリー使用の際は、その製品の取扱説明書をよくお読みのうえ使用してください。
- このディーラーマニュアルに記載されている重要な情報の一部は機器ラベルにも記載されています。
- バッテリーマウントの鍵に記載されているナンバーは、スペアキーを再購入する際に必要です。大切に保管してください。
- バッテリー、樹脂カバーのお手入れの際は、水でぬらした布をかたく絞って拭いてください。
- 取扱い方法およびメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページで公開されます。詳しくは「端末との接続通信」の項目を参照してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。
- 最大限の性能を得るために、シマノ製の潤滑剤とメンテナンス製品を強くお勧めします。

■PCとの接続通信

PC接続機器を使用してPCを自転車(システムまたはコンポーネント)に接続すると、個別のコンポーネントやシステム全体のカスタマイズ、ファームウェアのアップデートなどの作業をE-TUBE PROJECT Professionalでおこなうことができます。

- PC接続機器：SM-PCE02
- E-TUBE PROJECT Professional：PCアプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

■スマートフォンとの接続通信

サイクルコンピューターがBluetooth® LEに対応している場合、スマートフォンにインストールしたE-TUBE PROJECT Cyclistと接続できます。E-TUBE PROJECT Cyclistでは、システムのカスタマイズおよびファームウェアのアップデートなどの機能を利用できます。

- E-TUBE PROJECT Cyclist：スマートフォン用アプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

■リチウムイオンバッテリー



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内のみ有効です。

使用済みのバッテリー廃棄については、お住まいの地域のルールに従ってください。ご不明の場合は販売店または代理店にご相談ください。

- リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。
日本国内でのバッテリーリサイクルは、最寄りのリサイクル協力店へ持ち込んでください。
詳細は一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ： <https://www.jbrc.com>

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

1 章 使用工具一覽

使用工具一覧

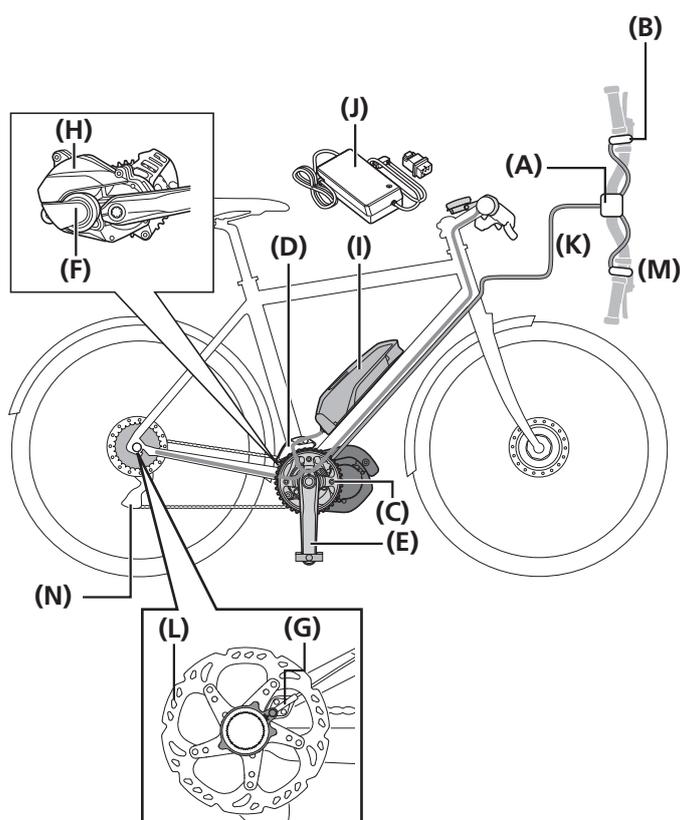
取付け、調整、およびメンテナンスでは以下の工具が必要です。

コンポーネント	使用箇所	工 具	
サイクルコンピューター (SC-E6010)	クランプボルト 角度調整ボルト		プラスドライバー[#2]
サイクルコンピューター (SC-E6100)	クランプボルト 固定ボルト 角度調整ボルト		プラスドライバー[#2]
サイクルコンピューター (SC-E7000)	クランプボルト		3 mm六角レンチ
	ケース取付けボルト		2.5 mm六角レンチ
アシストスイッチ	固定ボルト (SW-E6010/SW-E7000)		3 mm六角レンチ
	固定ボルト (SW-E6000)		プラスドライバー[#2]
エレクトリックワイヤー	コネクター		TL-EW02
バッテリーマウント (BM-E8010)	ホルダー下ケース	 	3 mm六角レンチ/8 mmスパナ
	キーユニット		3 mm六角レンチ
	キーユニットカバー		2.5 mm六角レンチ
	ホルダー上ケース		2.5 mm六角レンチ
バッテリーマウント (BM-E6010)	キーユニット ホルダー下ケース		3 mm六角レンチ
	キーユニットカバー ホルダー上ケース		プラスドライバー[#1]

コンポーネント	使用箇所	工 具	
スピードセンサー	スピードセンサー取付けボルト		ヘキサロビュラ[#10]
ライトケーブル	固定ボルト		プラスドライバー[#2]
ドライブユニット	ドライブユニット取付けボルト (M8)	-	-
	カバー取付けボルト (M3)		プラスドライバー[#2]
クランクアーム	キャップ	 	TL-FC16/TL-FC18
	はずれ止めプレート		5 mm六角レンチ
チェーンデバイス	ガイド取付けボルト (M5)		4 mm六角レンチ
	バックプレート取付けボルト (M6)		3 mm六角レンチ
チェーンリングユニット	ロックリング	 	TL-FC39+TL-FC36
	チェーンリング	 	TL-FC22+TL-FC23
チェーンガード	チェーンガード取付けボルト		プラスドライバー[#2]

2章 取付け

各部の名称



- (A) サイクルコンピューター/
ジャンクション (A) :
SC-E6010/SC-E6100/
SC-E7000/EW-EN100
- (B) アシストスイッチ :
SW-E6010-L/SW-E6000/
SW-E7000
- (C) チェーンリングユニット :
SM-CRE80/SM-CRE80-B/
SM-CRE80-12-B
- (D) チェーンデバイス :
SM-CDE80
- (E) クランクアーム :
FC-E8000/FC-E8050
- (F) ドライブユニット :
DU-E8080
- (G) スピードセンサー :
SM-DUE11
- (H) ドライブユニットカバー :
SM-DUE80-A
(ドライブユニットの
ポートのみを覆うタイプ)
SM-DUE80-B
(ドライブユニットのポート
とフレーム取付けボルトを
覆うタイプ)
- (I) バッテリー (外付けタイプ) /
バッテリーマウント (外付け
タイプ) :
BT-E8010 (日本仕様) /
BM-E8010
BT-E6010 (日本仕様) /
BM-E6010
- (J) 充電器 :
EC-E6000 (日本仕様)
- (K) E-TUBE (EW-SD50)
- (L) 専用ディスクブレーキローター:
RT-EM300/RT-EM600
RT-EM800/RT-EM810
RT-EM900/RT-EM910

電動変速の場合

- (M) シフトスイッチ :
SW-E6010-R/SW-E6000/
SW-E7000
- (N) リアディレーラー (Di2) :
RD-M8050



最大ケーブル長さ (EW-SD50)

(K) ≤ 1,600 mm

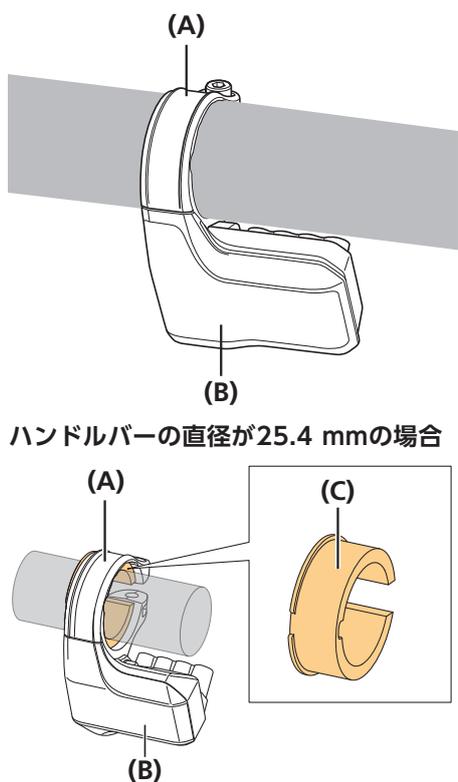
製品仕様

動作温度範囲：放電時	-10 ~ 50℃	バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー (日本仕様)
動作温度範囲：充電時	0 ~ 40℃	公称容量	SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアルを参照してください。また最新のマニュアル情報についてはウェブサイト (https://si.shimano.com) をご覧ください。
保管温度	-20 ~ 70℃	定格電圧	36 V DC
保管温度 (バッテリー)	-20 ~ 60℃	ドライブユニット方式	ミッドシップ
充電電圧	100 ~ 240 V AC	モータータイプ	ブラシレスDC
充電時間	SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアルを参照してください。また最新のマニュアル情報についてはウェブサイト (https://si.shimano.com) をご覧ください。	ドライブユニット定格出力	250 W

* アシストが提供する最大速度はメーカー側で設定されていますが、自転車を使用する条件によって異なります。

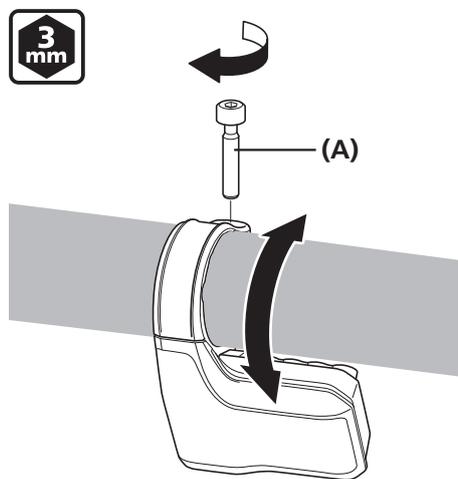
サイクルコンピューターの取付けと取外し (SC-E7000)

1



サイクルコンピューターのクランプバンドをハンドルバーに通します。ハンドルバーの直径が25.4 mmの場合、アダプターが必要です。

2



見やすいようにサイクルコンピューターの角度を調整し、3 mm六角レンチでクランプボルトを締付けます。

- (A) クランプバンド
(B) サイクルコンピューター
(C) アダプター

- (A) クランプボルト

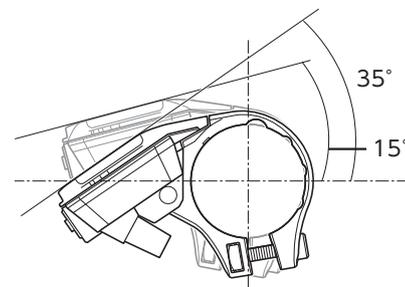
締付けトルク

3 mm

0.8 N·m

使用上の注意

本体の取付け推奨角度：ディスプレイ面角度が水平から15° ~ 35°

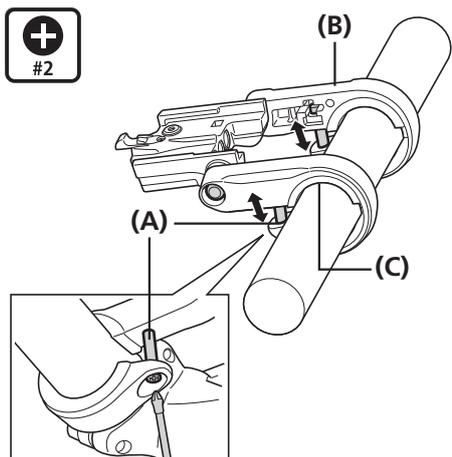


取外しは逆の手順でおこなってください。

サイクルコンピューターの取付けと取外し (SC-E6010/SC-E6100)

■ 取付け

1 クランプ部(B)を押し広げ、ブラケットをハンドルバーの中央に取付けます。



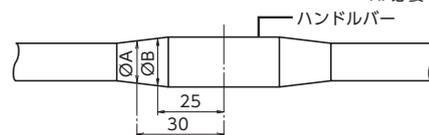
< SC-E6010 >
クランプボルト(A)でクランプ部(B)をハンドルバーに固定します。
< SC-E6100 >
クランプボルト(A)でクランプ部(B)をハンドルに仮止めします。

(A) クランプボルト
(B) クランプ部
(C) アダプター

ハンドル対応表

ØA	ØB-ØA	アダプター	固定ボルト
Ø23.4 ~ Ø24	0 ~ 1.1	X	15.5 mm
Ø24 ~ Ø25.5	0 ~ 1.1	X	20 mm
Ø31.3 ~ Ø31.9	0 ~ 0.6	-	20 mm

* X: 必要



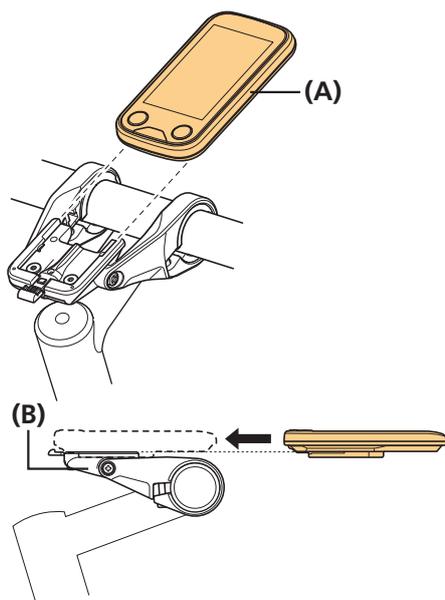
< SC-E6010 >

締付けトルク

	1 N·m
--	-------

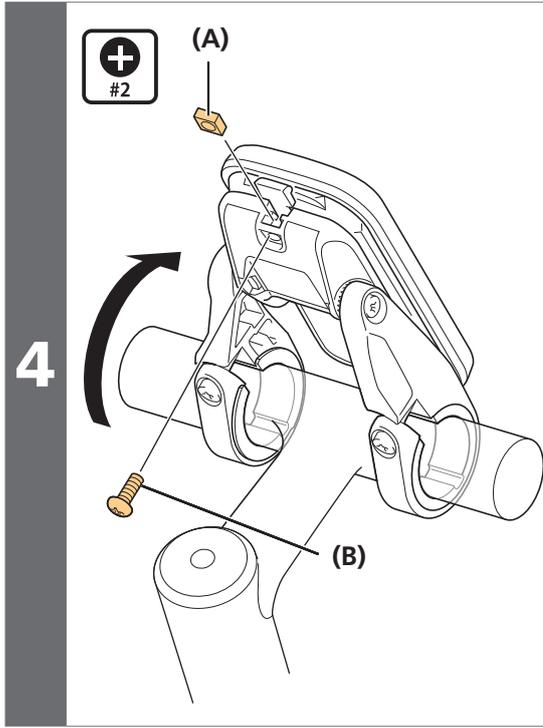
2

3



図のようにサイクルコンピューター(A)をブラケット(B)にスライドさせて取付けます。
パチッと音がするまで確実に差込んでください。
< SC-E6010 >
上記手順で取付けは完了です。
< SC-E6100 >
手順4に進んでください。

(A) サイクルコンピューター
(B) ブラケット



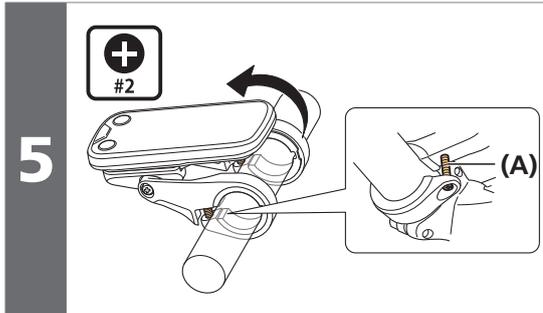
必要に応じてサイクルコンピューターを固定します。
 サイクルコンピューターをブラケットに固定しない場合は、この手順は不要です。
 サイクルコンピューターを裏返すように、ブラケットとともにステムの上に起こします。
 四角ナットをブラケットに挿入し、固定ボルトで締付けます。

- (A) 四角ナット
- (B) 固定ボルト

締め付けトルク	
	0.4 - 0.5 N·m

 TECH TIPS

- この手順で、サイクルコンピューターは容易に取外せないようにブラケットに固定されます。売場での展示などにご利用ください。
- ユーザー様には、納品時にサイクルコンピューターを固定するかどうかを確認し、必要に応じて左記の固定方法をご説明ください。

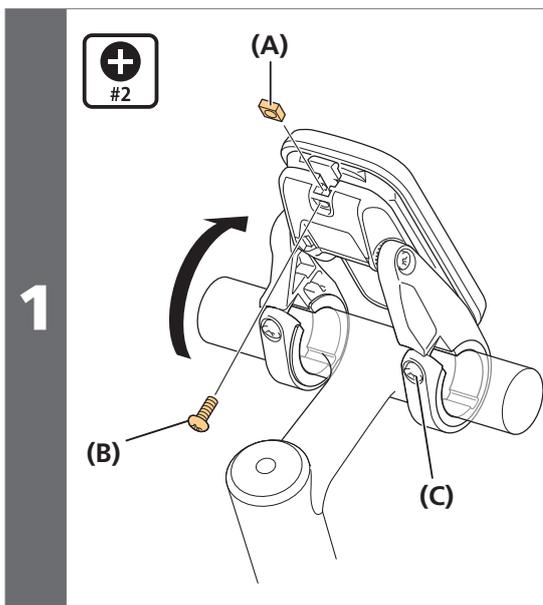


手順4でステムの上に起こしている場合、サイクルコンピューターを取付け位置まで戻します。
 次にブラケットを固定します。

- (A) クランプボルト

締め付けトルク	
	1 N·m

■ 取外し



< SC-E6010 >
 この手順は不要です。手順2に進んでください。
 < SC-E6100 >
 サイクルコンピューターを固定していない場合、この手順は不要です。手順2に進んでください。
 クランプボルトを緩め、サイクルコンピューターを裏返すように、ブラケットとともにステムの上に起こします。
 次に固定ボルトと四角ナットを取外します。

- (A) 四角ナット
- (B) 固定ボルト
- (C) クランプボルト

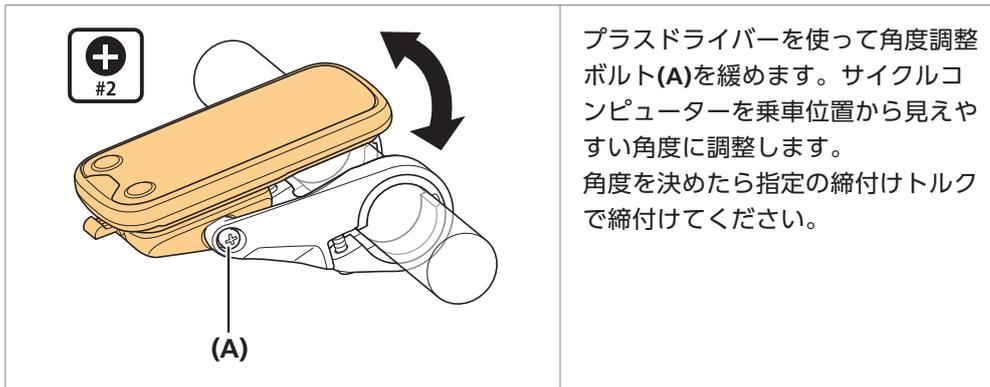
2章 取付け

▶ サイクルコンピューターの角度調整 (SC-E6010/SC-E6100)



(A) レバー

■ サイクルコンピューターの角度調整 (SC-E6010/SC-E6100)



(A) 角度調整ボルト

締付けトルク



0.5 N·m

ジャンクション (A) の取付けと取外し (EW-EN100)

EW-EN100は、簡易な操作・表示機能を持つジャンクション (A) です。

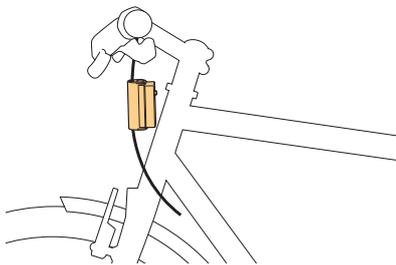
サイクルコンピューターの代わりに、コックピット周辺でLEDが乗車位置から視認できる位置に取付けます。

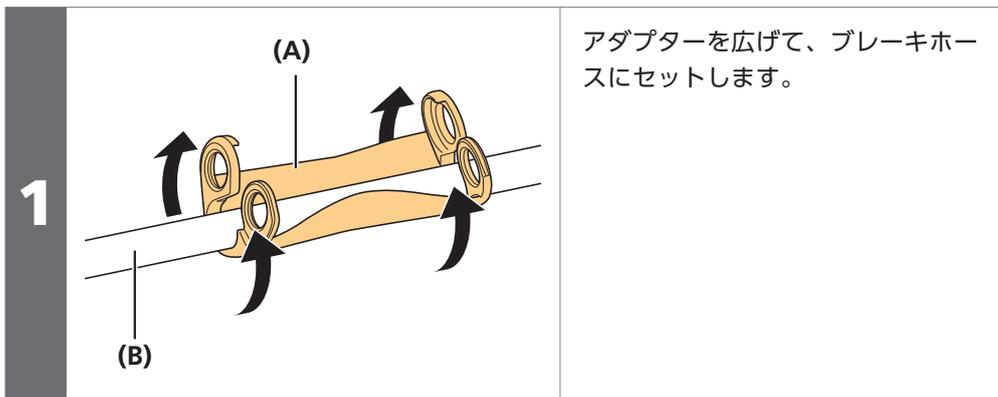
ここではブレーキホースに取付ける手順を説明します。ブレーキアウターケーシングに取付ける場合も同様に取付けることができます。

使用上の注意

EW-EN100の取付け箇所について

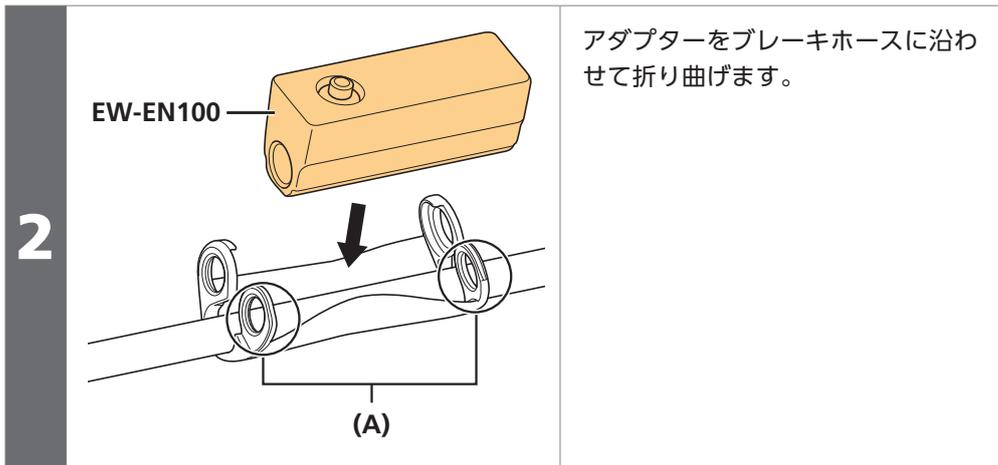
- 図のように、EW-EN100がフレームの側面に来ないように配置してください。転倒時、車体と縁石などの間に挟まれ、破損する原因になります。





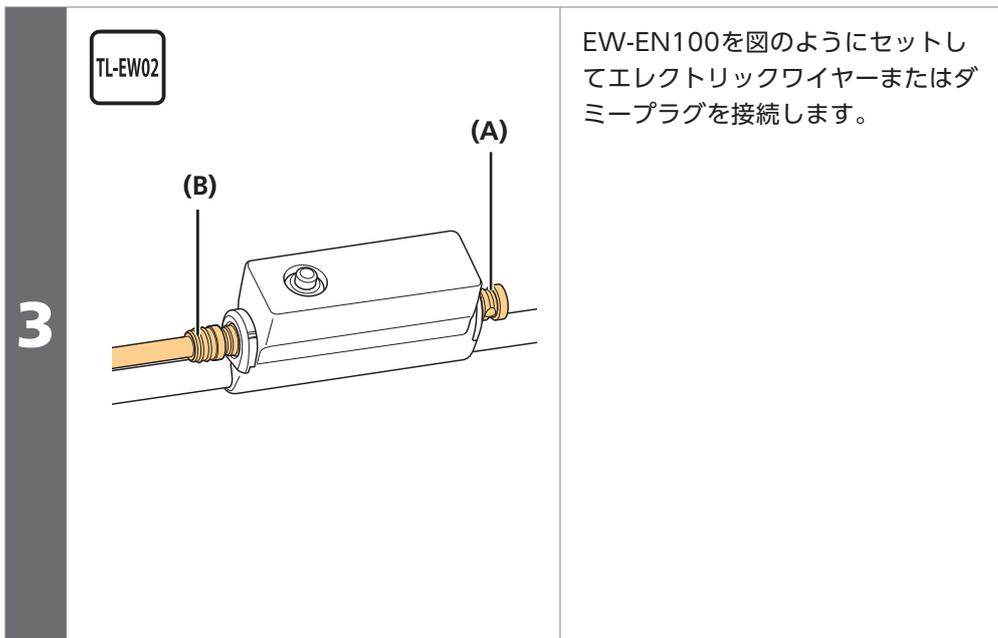
アダプターを広げて、ブレーキホースにセットします。

- (A) アダプター
- (B) ブレーキホースまたはブレーキアウターケーシング



アダプターをブレーキホースに沿わせて折り曲げます。

- (A) 内側



EW-EN100を図のようにセットしてエレクトリックワイヤーまたはダミープラグを接続します。

- (A) ダミープラグ
- (B) エレクトリックワイヤー

使用上の注意

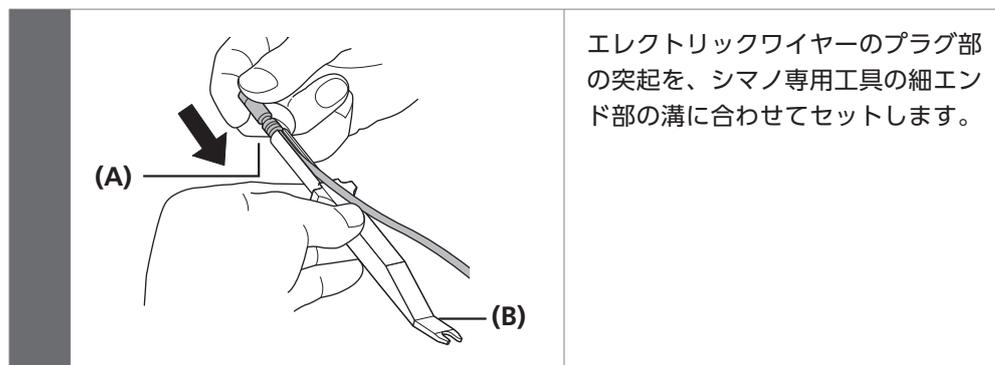
EW-EN100の2つのE-TUBEポートには、必ずエレクトリックワイヤーまたはダミープラグを接続してください。2カ所の接続によって、EW-EN100はブレーキホースまたはブレーキアウターケーシングに固定されます。

TECH TIPS

取外しは逆の手順でおこなってください。

エレクトリックワイヤーの取扱いについて

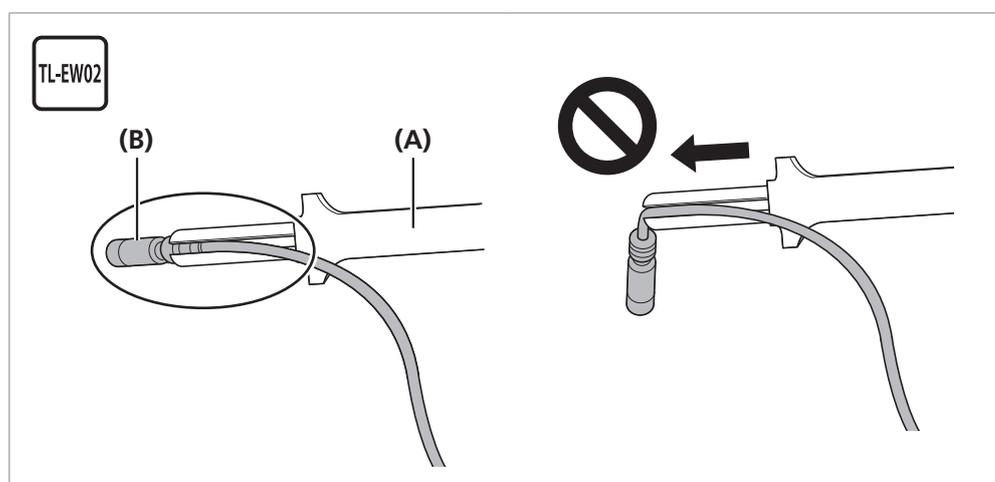
エレクトリックワイヤーを抜き差しする際は、シマノ専用工具を使用してください。ここでは、シマノ専用工具でエレクトリックワイヤーの接続をおこなう際のセット方法について記載しています。



- (A) 細エンド部 (取付け用)
(B) 太エンド部 (取外し用)

TECH TIPS

エレクトリックワイヤーを取外すときは、プラグ部の溝にシマノ専用工具の太エンド部を差込んで使用してください。



- (A) シマノ専用工具 (TL-EW02)
(B) プラグ

使用上の注意

- エレクトリックワイヤーを接続する際に、プラグ部を無理にまげないでください。接触不良の原因になることがあります。
- エレクトリックワイヤーを接続する際は、カチッという感覚があるまで押込んでください。

スイッチユニットの取付け

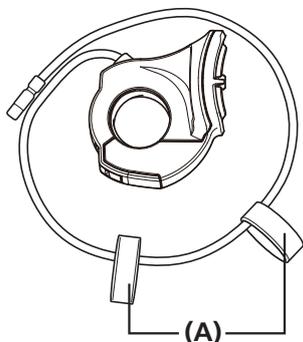
ハンドルバーに、アシストスイッチおよびシフトスイッチ（電動変速の場合）を取付けます。



- SW-E6010を使用する場合、ハンドル左側（デフォルト設定でアシスト側）にはSW-E6010-L、右側（デフォルト設定でシフト側）にはSW-E6010-Rを取付けます。
- SW-E6000を使用する場合、ハンドル左右で取付けるスイッチユニットの区別はありません。

■ SW-E6010/SW-E6000の取付け

1



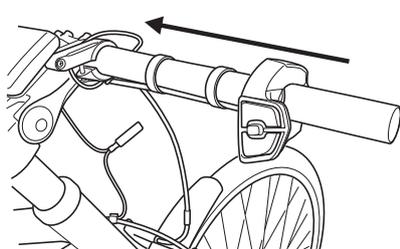
アシストスイッチにコードバンド (A)を仮組みします。ハンドルの長さに応じて個数を調整してください。

(A) コードバンド



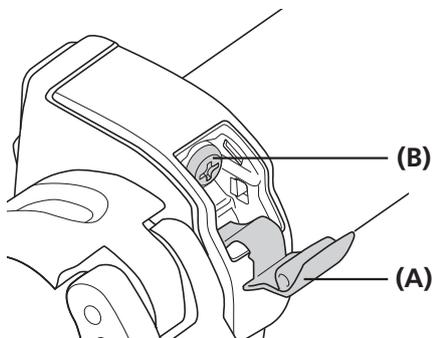
コードバンドはSW-E6010に含まれています。

2



コードバンド、アシストスイッチを仮組み状態のままハンドルに通します。

3

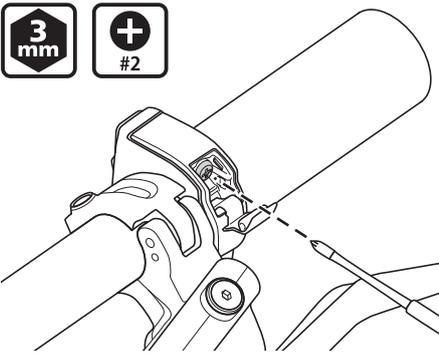


スイッチユニットの下にエレクトリックワイヤーを通し、スイッチユニットをハンドルバーに取付けます。その後、固定ボルトカバーを開きます。

(A) 固定ボルトカバー

(B) 固定ボルト

4



固定ボルトを締付けます。

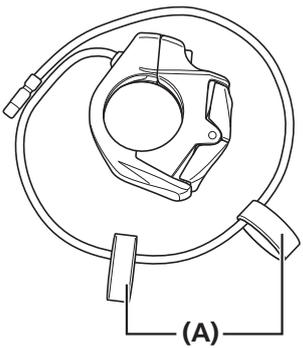
締付けトルク	
SW-E6010 	1.5 N·m
SW-E6000 	

 **TECH TIPS**

- ここではSW-E6000を例にしています。SW-E6010も同様の手順で取付けます。
- スイッチユニットを取外す場合は、逆の手順でおこないます。

■ SW-E7000の取付け

1



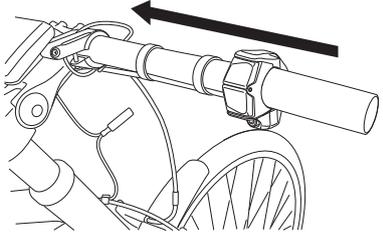
アシストスイッチにコードバンド(A)を仮組みします。ハンドルの長さに応じて個数を調整してください。

(A) コードバンド

 **TECH TIPS**

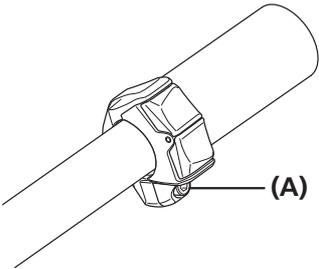
コードバンドはSW-E7000に含まれています。

2



コードバンド、アシストスイッチを仮組み状態のままハンドルに通します。
Φ22.0 ~ Φ22.4のハンドルバーに、エレクトリックワイヤーが下にくるようにしてください。

3



固定ボルト(A)を3 mm六角レンチを使用し、指定の締付けトルクで締付けてください。

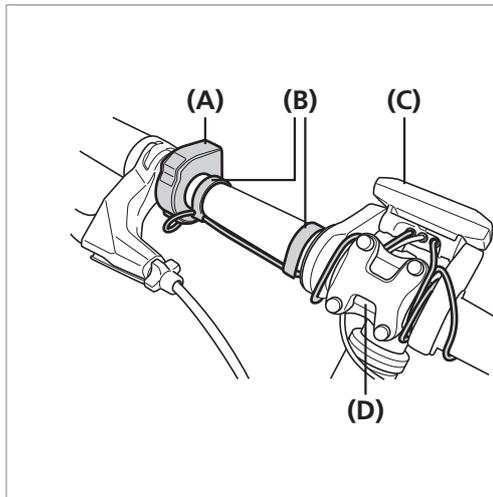
(A) 固定ボルト

締付けトルク	
	1.5 N·m

 **TECH TIPS**

取外しは逆の手順でおこなってください。

■ エレクトリックワイヤーの取回し例 (SC-E6010/SC-E6100)



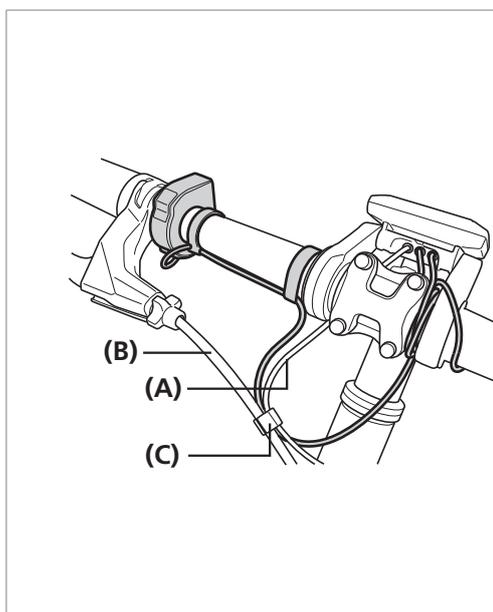
例1：

スイッチユニット同こんのコードバンドを使用して、スイッチユニットのエレクトリックワイヤーをハンドルバーに固定します。

次に、長さが余る分のエレクトリックワイヤーを、サイクルコンピューターとステムの間に巻きます。

最後に、スイッチユニットのエレクトリックワイヤーをサイクルコンピューターに接続します。

- (A) スwitchユニット (シフト側)
- (B) コードバンド
- (C) サイクルコンピューター
- (D) ステム



例2：

スイッチユニット同こんのコードバンドを使用して、スイッチユニットのエレクトリックワイヤーをハンドルバーに固定します。

次にスイッチユニットおよびサイクルコンピューターのエレクトリックワイヤーをブレーキのアウターケーシングと束ねて、サイクルコンピューター同こんのバンドで固定します。

最後に、スイッチユニットのエレクトリックワイヤーをサイクルコンピューターに接続します。

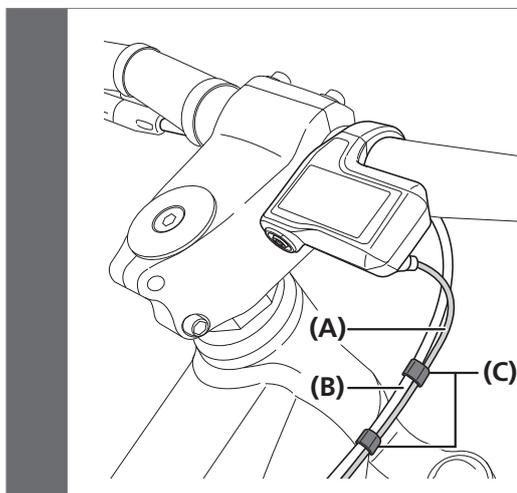
- (A) サイクルコンピューターのエレクトリックワイヤー
- (B) アウターケーシング
- (C) バンド



TECH TIPS

ここではSW-E6000を例にしています。SW-E6010も同様にエレクトリックワイヤーを取り回してください。

■ エレクトリックワイヤーの取回し例 (SC-E7000)



図のように、サイクルコンピューターからドライブユニットに接続しているエレクトリックワイヤーを、バンドでブレーキホース (またはブレーキアウターケーシング) に固定します。

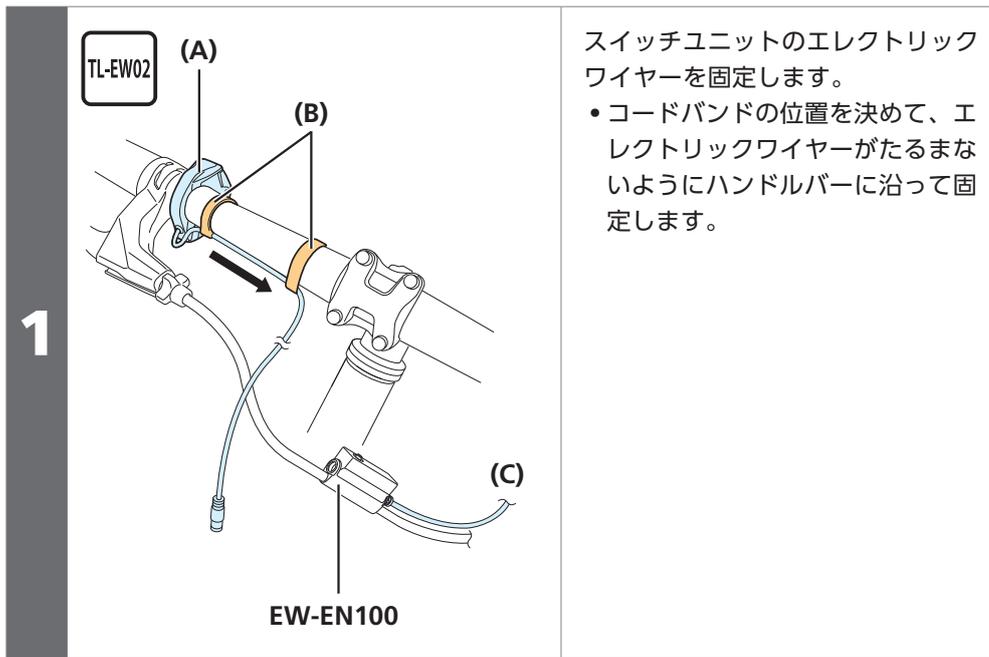
- (A) サイクルコンピューター側エレクトリックワイヤー
- (B) ブレーキホース (またはブレーキアウターケーシング)
- (C) バンド



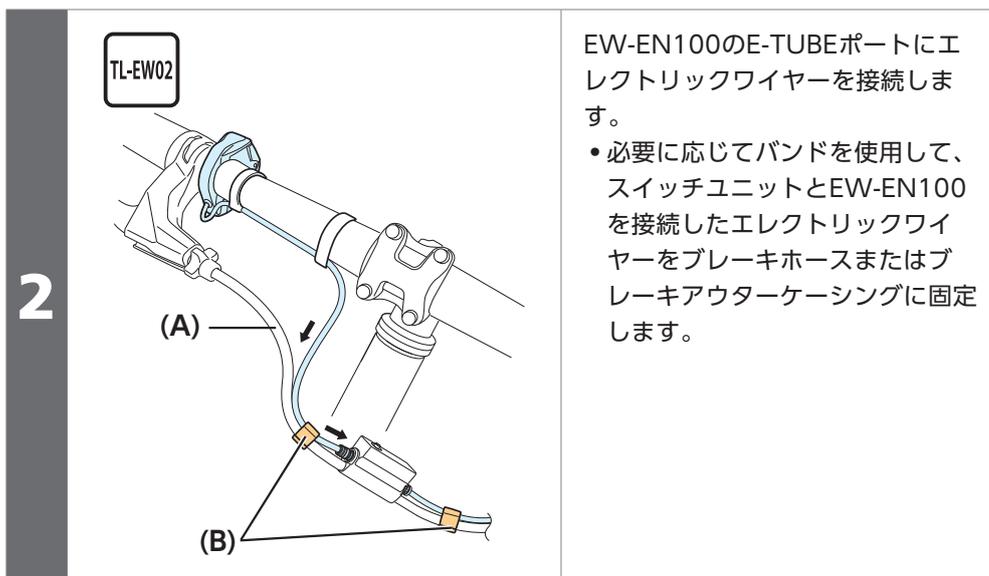
TECH TIPS

バンドはSC-E7000に同こんされています。

■ エレクトリックワイヤーの取回し例 (EW-EN100)



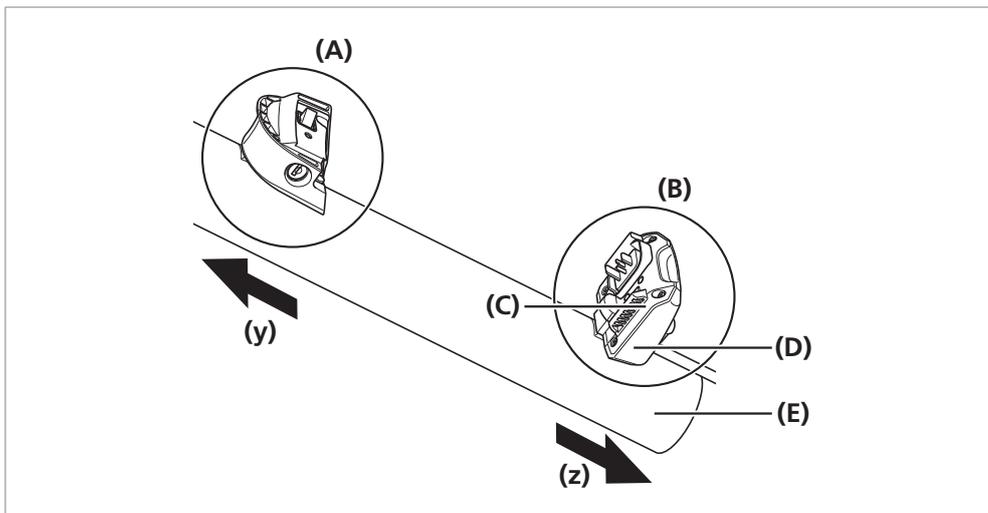
- (A) スイッチユニット
 (B) コードバンド
 (C) ドライブユニット



- (A) ブレーキアウターケーシング
 (B) バンド

バッテリーマウントの取付け

■ BM-E8010



(y) 自転車のフロント側

(z) 自転車のリア側

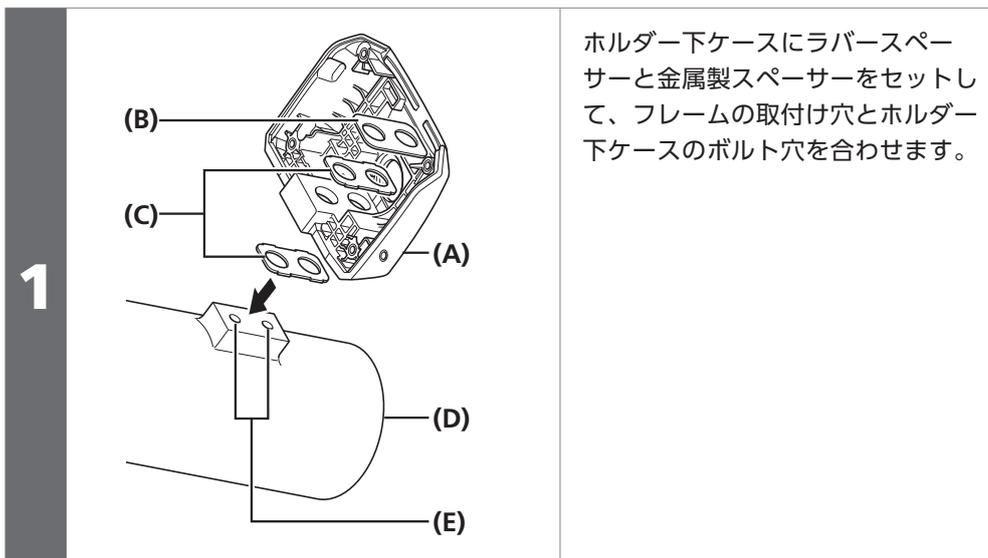
(A) キーユニット

(B) バッテリー接続ユニット

(C) ホルダー上ケース

(D) ホルダー下ケース

(E) フレーム



ホルダー下ケースにラバースパ
ーサーと金属製スペーサーをセットし
て、フレームの取付け穴とホルダー
下ケースのボルト穴を合わせます。

(A) ホルダー下ケース

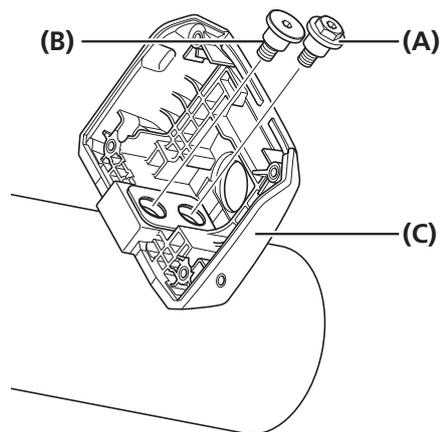
(B) 金属製スペーサー

(C) ラバースパ
ーサー

(D) フレーム

(E) フレームの取付け穴

2



ホルダー下ケースを2種類のホルダー取付けボルト (M5) で締付けて固定します。

先にホルダー取付けボルト (M5) (低頭タイプ) から締付けてください。

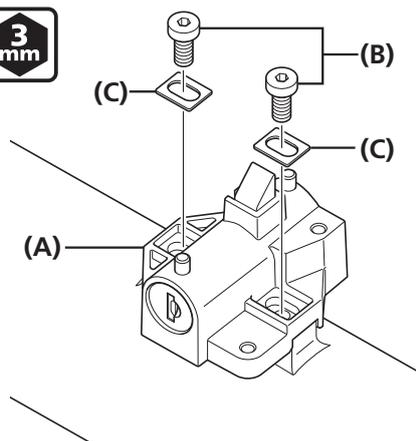
- (A) ホルダー取付けボルト (M5) (六角ボルトタイプ)
ホルダー取付けボルトには3 mm六角レンチまたは8 mmスパナを使用します。
- (B) ホルダー取付けボルト (M5) (低頭タイプ) :
ホルダー取付けボルトには3 mm六角レンチを使用します。
- (C) ホルダー下ケース

締付けトルク



3 N·m

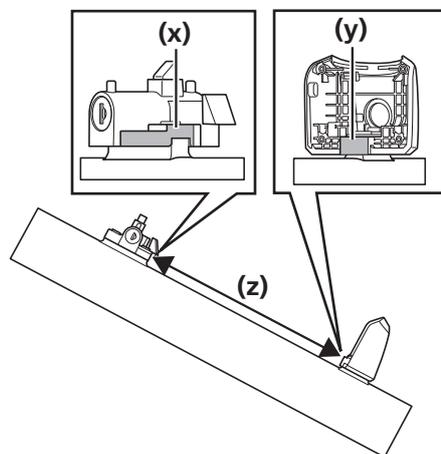
3



キーユニットをキーユニット取付けボルト (M5) で仮締めします。

- (A) キーユニット :
キーユニットはシマノ製品には同梱されていません。
- (B) キーユニット取付けボルト (M5)
- (C) ワッシャー

4



キーユニットの(x)部とホルダー下ケースの(y)部との間の距離が224.4 mmになるように、キーユニットの位置を調整し、キーユニット取付けボルトを本締めします。

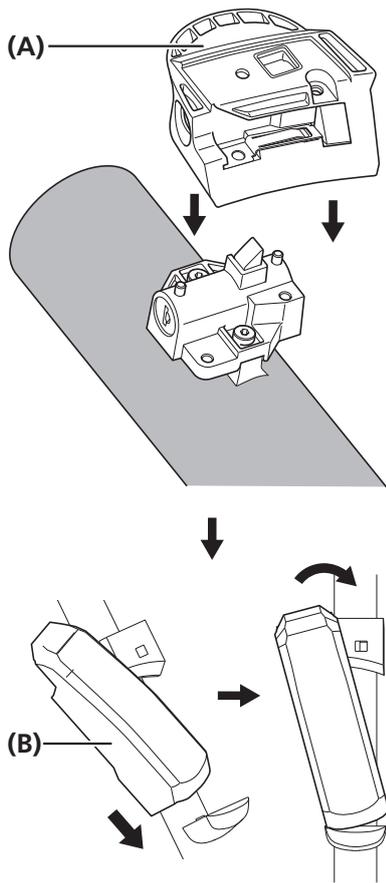
(z) 224.4 mm

締付けトルク



3 N·m

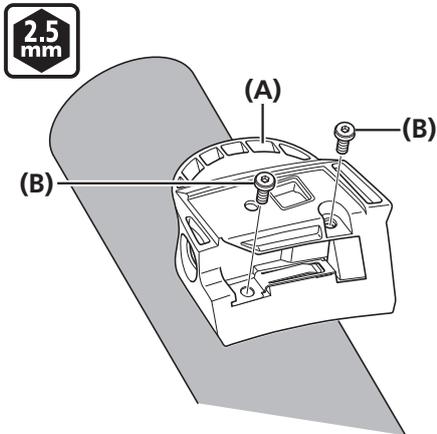
5



キーユニットは、一度キーユニットカバーを取付けて、バッテリーがスムーズに抜き差しできて、かつ走行中にガタつきが生じないようにしっかり調整します。

- (A) キーユニットカバー
- (B) バッテリー

6



キーユニットカバーをキーユニットカバー取付けボルト (M4) で固定します。

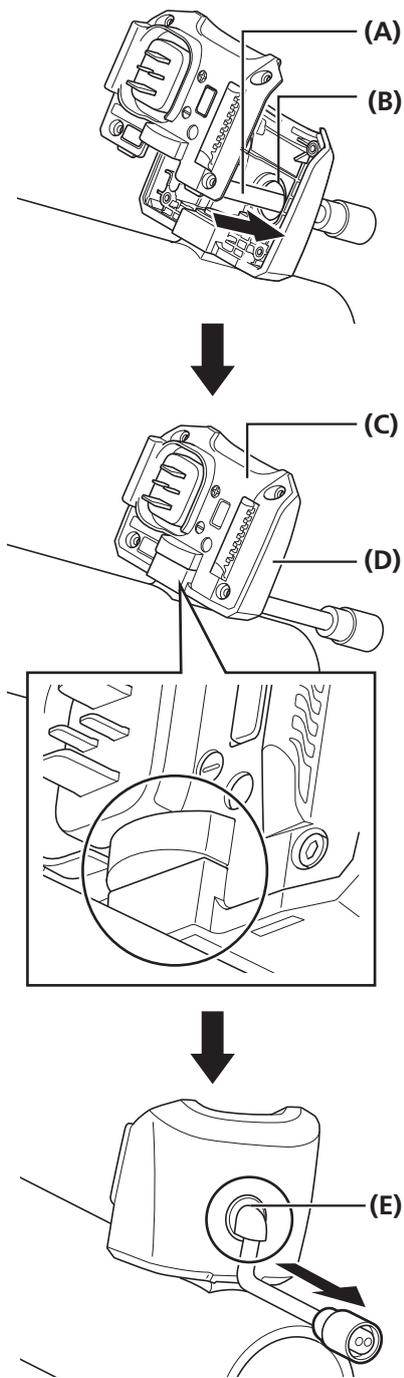
- (A) キーユニットカバー
- (B) キーユニットカバー取付けボルト (M4)

締付けトルク



0.6 N·m

7



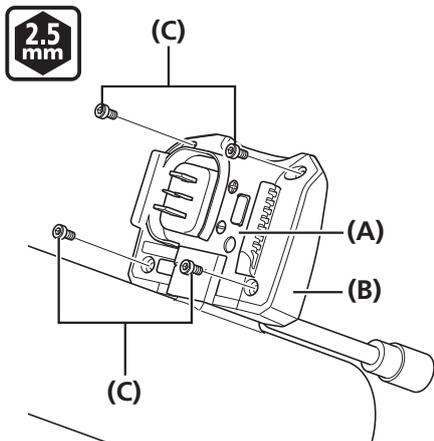
電源コードをケーブル通し穴に通します。

ホルダー上ケースとホルダー下ケースの突起を合わせます。

ラバーブッシュがケーブル通し穴にはまるまで電源コードを引っ張ります。

- (A) 電源コード
- (B) ケーブル通し穴
- (C) ホルダー上ケース
- (D) ホルダー下ケース
- (E) ラバーブッシュ

8



ホルダー上ケースをホルダー上ケース取付けボルト (M3) で固定します。

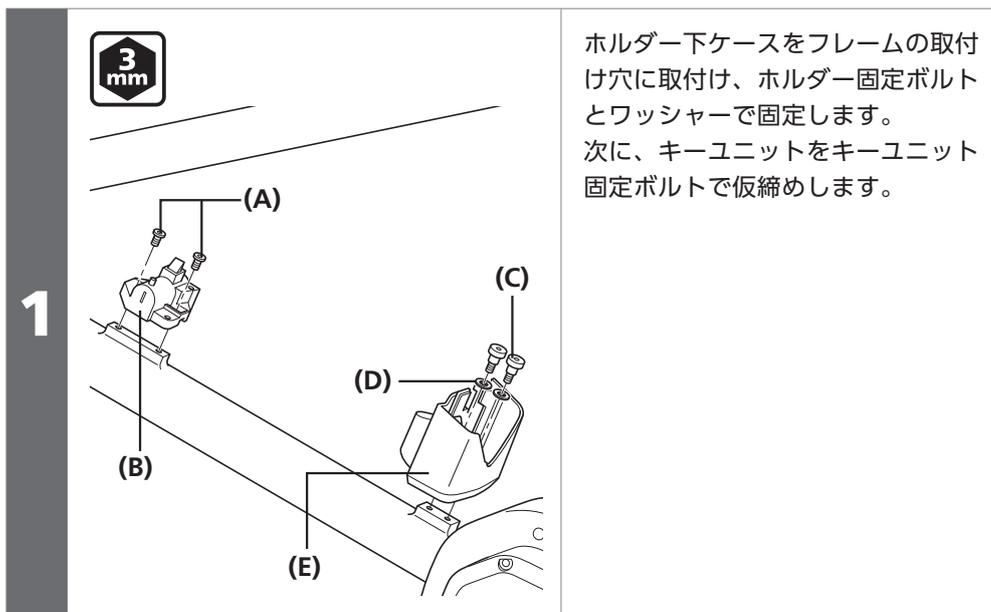
- (A) ホルダー上ケース
- (B) ホルダー下ケース
- (C) ホルダー上ケース取付けボルト (M3)

締付けトルク



0.6 N·m

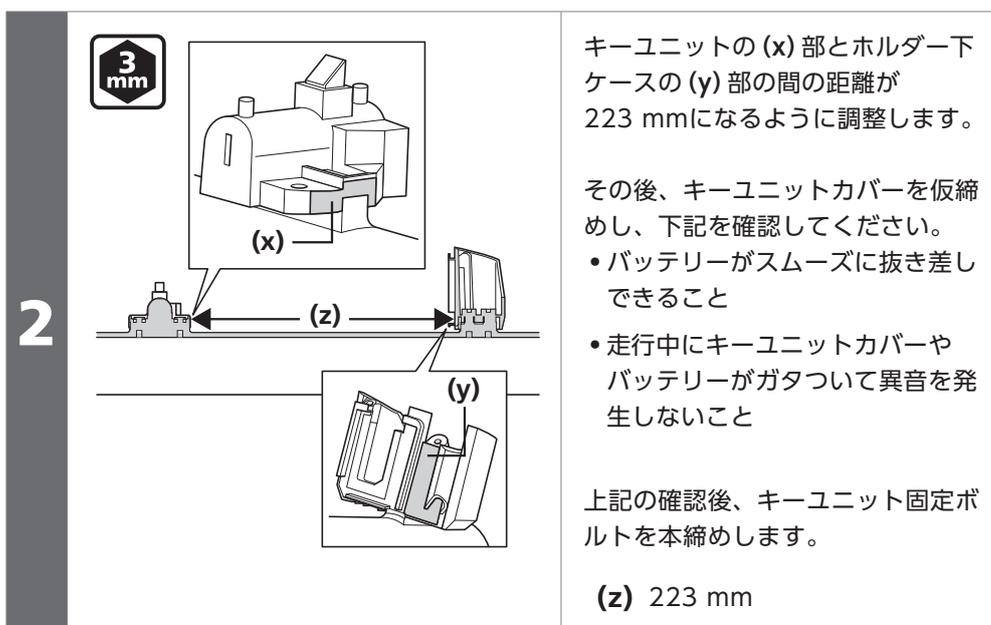
■ BM-E6010



ホルダー下ケースをフレームの取付け穴に取付け、ホルダー固定ボルトとワッシャーで固定します。次に、キーユニットをキーユニット固定ボルトで仮締めします。

- (A) キーユニット固定ボルト (M5)
 (B) キーユニット：
 キーユニットはシマノ製品には同梱されていません。
 (C) ホルダー固定ボルト (M5)
 (D) ワッシャー
 (E) ホルダー下ケース

締付けトルク	
3 mm	3 N·m



キーユニットの (x) 部とホルダー下ケースの (y) 部との距離が 223 mm になるように調整します。

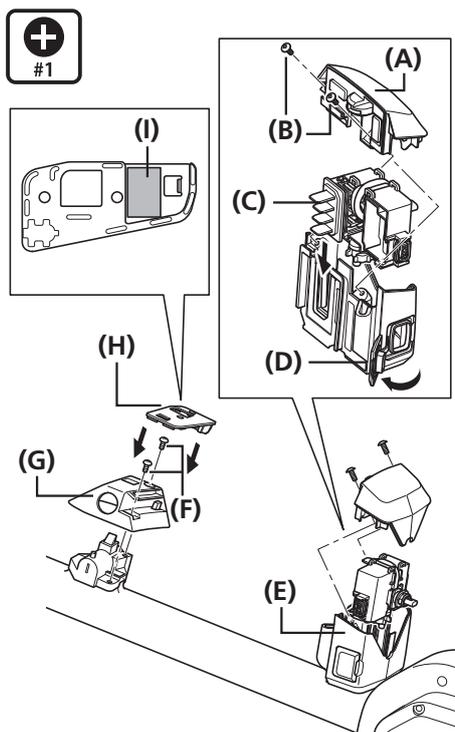
その後、キーユニットカバーを仮締めし、下記を確認してください。

- バッテリーがスムーズに抜き差しできること
- 走行中にキーユニットカバーやバッテリーがガタついて異音が発生しないこと

上記の確認後、キーユニット固定ボルトを本締めします。

(z) 223 mm

締付けトルク	
3 mm	3 N·m



キーユニットカバー固定ボルトで、キーユニットカバーを本締めします。

次に、裏面の粘着テープのはく離紙をはがして、スペーサーをキーユニットカバーに貼付けます。

最後に、充電ポートキャップを完全に開いた状態で、充電ポートをホルダー下ケースに挿入します。充電ポートがホルダー下ケースとホルダー上ケースの間に入るようにホルダー上ケースを取付け、ホルダー上ケース固定ボルトで固定します。

- (A) ホルダー上ケース
- (B) ホルダー上ケース固定ボルト (M3)
- (C) 充電ポート
- (D) 充電ポートキャップ
- (E) ホルダー下ケース
- (F) キーユニットカバー固定ボルト (M4)
- (G) キーユニットカバー
- (H) スペーサー
- (I) はく離紙

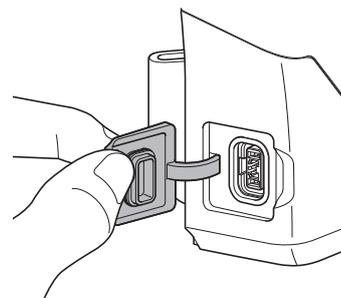
締め付けトルク



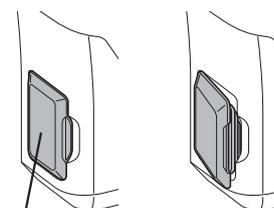
0.6 N·m

使用上の注意

- 粘着テープの粘着面や、キーユニットカバーの表面に油分や異物が付着している場合は、取除いてから貼付けてください。
- 充電ポートを挿入する時は、図のように充電ポートキャップを完全に開いた状態にしてください。充電ポートキャップが閉じた状態で充電ポートを挿入すると、充電ポートキャップが正しく閉じられなくなります。



- 取付け後、確実に充電ポートキャップを閉じてください。



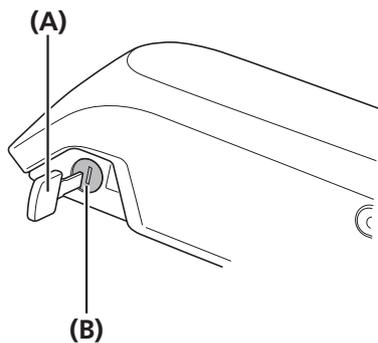
充電ポートキャップ

バッテリーの取付け/取外し

■ 鍵の使い方

バッテリーは、バッテリーマウントに鍵で固定します。
数種類の鍵があるため、下記の説明と異なる場合があります。

1



電源を切ってから、バッテリーマウントのキーシリンダーに鍵を差込みます。

- (A) 鍵
(B) キーシリンダー

使用上の注意

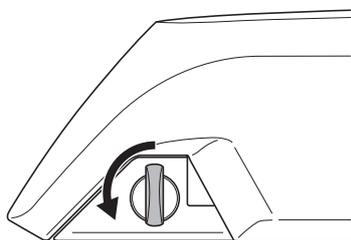
バッテリーを取外したり運ぶ際には、落とさないようにしっかりと持ってください。



TECH TIPS

- 鍵の位置はバッテリーの挿入には影響しません。鍵がどの位置にあってもバッテリーは挿入できます。
- 鍵は挿入位置にない場合は、取外すことができません。

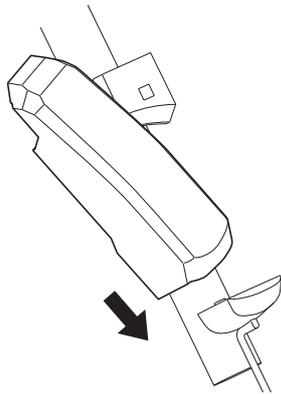
2



バッテリーのロックを解除するには、少し抵抗を感じるまで鍵を左に回します。

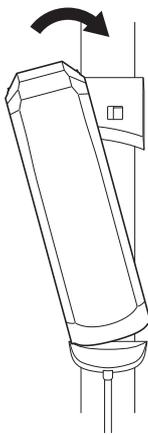
■ バッテリーの取付け

1



バッテリー底部にある凹部とホルダーの凸部を合わせて差込みます。

2



差込み部分を支点にしてバッテリーを右側にスライドさせます。

カチッという音がするまでしっかり押込んでください。

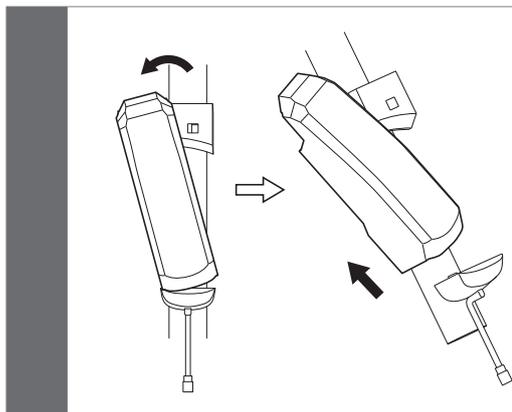
3

鍵をロック位置に戻して取外し、安全な場所に保管してください。

使用上の注意

- 脱落防止のために、取付け後はバッテリーがロックされていることを必ず確認してください。
- 乗車前に、充電ポートキャップが閉じていることを確認してください。
- バッテリーの脱落を防止するため、鍵を差込んだまま自転車に乗らないでください。

■ バッテリーの取外し

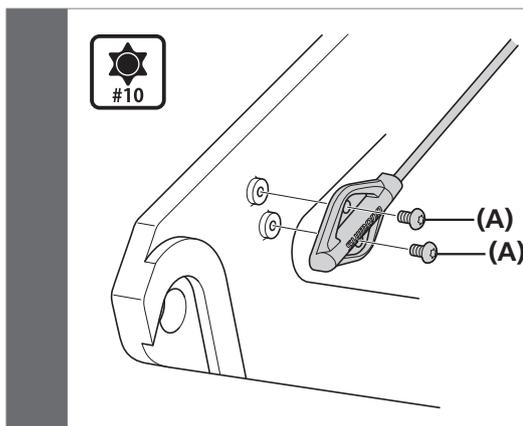


電源をOFFにしてから、鍵を差込であたりを感じる位置まで回します。

バッテリーの上部を持ち、左にスライドさせて取外します。

スピードセンサーの取付け

SM-DUE11の取付け穴は、左側チェーンステア内側の後輪の車軸近くにあります。



スピードセンサーをスピードセンサー取付けボルト2本で取付けます。

(A) スピードセンサー取付けボルト

締付けトルク



0.6 N·m

磁石の取付け

スピードセンサーの動作に必要な磁石は、専用ディスクブレーキローターに備わっています。必ず専用ディスクブレーキローターをご使用ください。

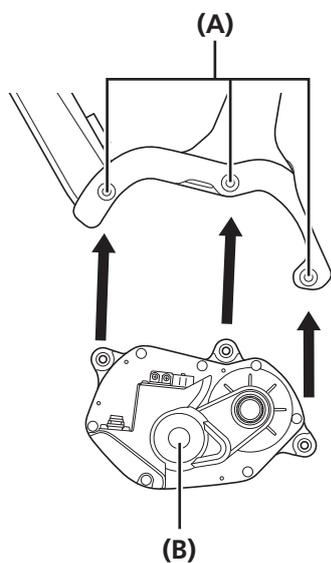
専用ディスクブレーキローターの取付けについては、基本作業書の「ディスクブレーキローターの取付け」を参照してください。

3章 ドライブユニットの 取付けと配線

ドライブユニットの取付け

あらかじめ接続ケーブルの配線をおこなってからドライブユニットを取付けてください。

1



フレームの右側と左側の3箇所を取付け穴でドライブユニットを合わせます。

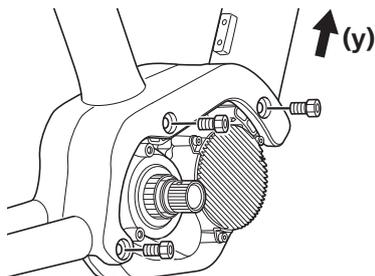
- (A) 取付け穴
- (B) ドライブユニット

使用上の注意

フレームやドライブユニットケースでケーブルを挟み込まないように気をつけてください。

2

右側



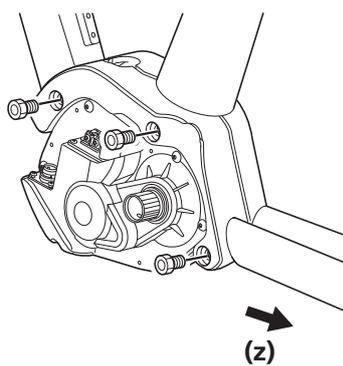
ドライブユニット取付けボルト (M8) を右側に取付けます。

その後、ドライブユニット取付けボルト (M8) を左側に取付けます。

ドライブユニットがフレーム右側の内側の面にしっかりと当たるまでドライブユニット取付けボルト (M8) を締付けてください。

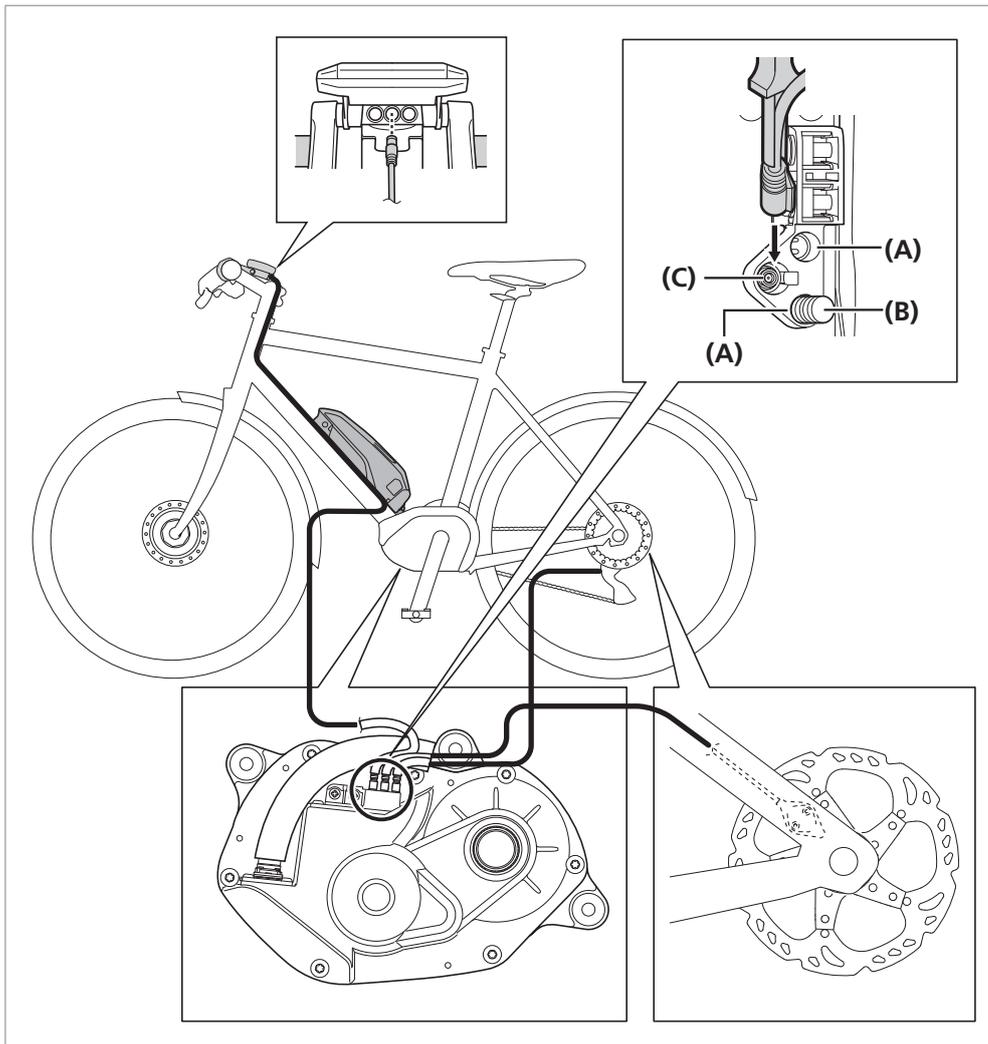
- (y) 自転車のフロント側
- (z) 自転車のリア側

左側



ドライブユニット取付けボルト (M8) およびナットはシマノ製品には同梱されていません。メーカーから供給されるボルトおよびナットを使用してください。締付けトルクについては、メーカーにお問い合わせください。

ドライブユニット配線図



(A) サイクルコンピューターポート/リアディレーラーポート/E-TUBEポート

(B) ダミープラグ

(C) スピードセンサーポート

使用上の注意

使用していないポートには必ずダミープラグを取付けてください。

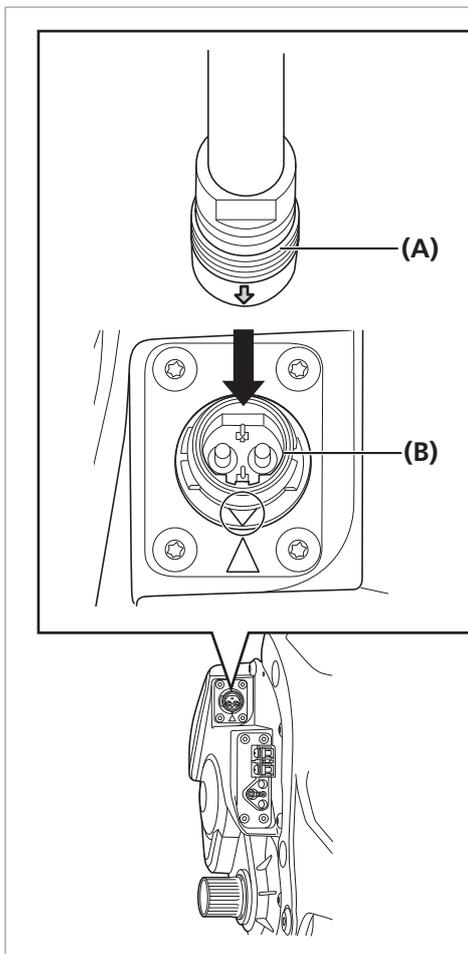


TECH TIPS

サイクルコンピューター/リアディレーラーのポートは各ポート共通で使用できます。

電源コードの接続

■ ドライブユニットへの接続



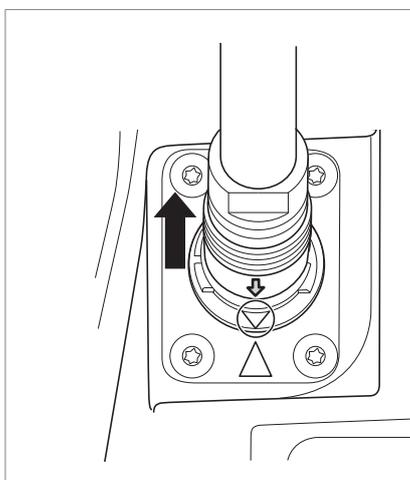
電源コードの矢印とドライブユニットポートの△の位置を合わせて、電源コードを差込みます。

しっかりとハマるまで押込みます。

(A) 電源コード

(B) ドライブユニットポート

■ ドライブユニットからの取外し

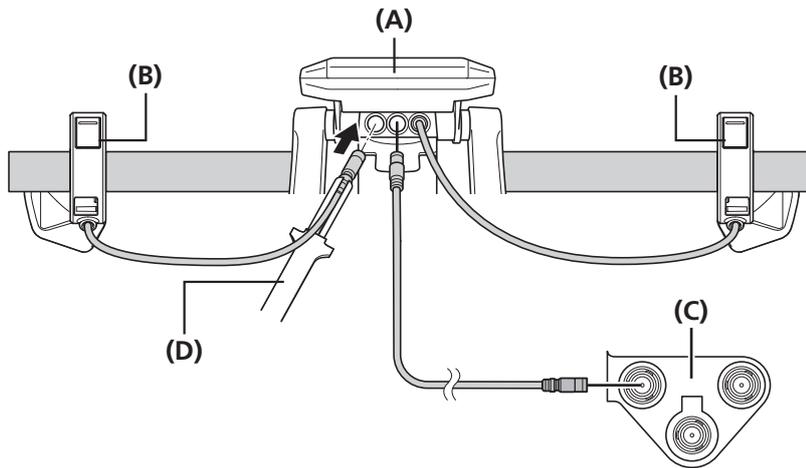


取外す際は先端の溝部分をつまみ、そのまま手前に引き抜いてください。

サイクルコンピューターおよびスイッチ関連とドライブユニットの接続 (SC-E6010/SC-E6100)

接続にはTL-EW02を使用します。

TL-EW02



- (A) サイクルコンピューター
- (B) アシストスイッチ/シフトスイッチ
- (C) ドライブユニットのコネクター部
- (D) TL-EW02

使用上の注意

使用していないポートには必ずダミープラグを取付けてください。

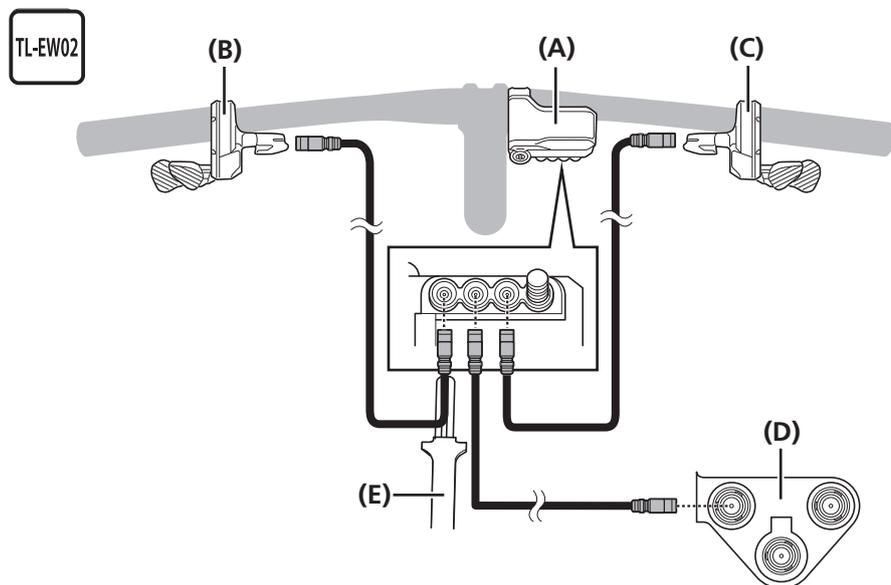


TECH TIPS

エレクトリックワイヤーのコネクターは、サイクルコンピューターのどのポートでも接続できますが、アシストスイッチの配線は、スイッチ側ポートへ接続することを推奨します。

サイクルコンピューターおよびスイッチ関連とドライブユニットの接続 (SC-E7000)

接続にはTL-EW02を使用します。



- (A) サイクルコンピューター
- (B) アシストスイッチ
- (C) シフトスイッチ
- (D) ドライブユニット
- (E) TL-EW02

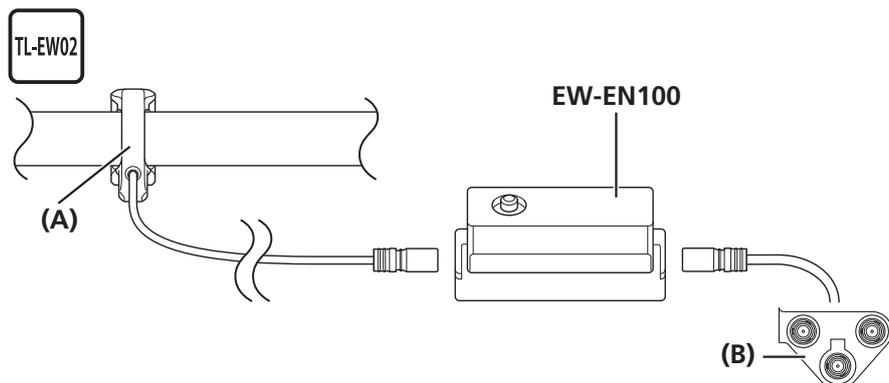
使用上の注意

使用していないポートには必ずダミープラグを取付けてください。

TECH TIPS

エレクトリックワイヤーのコンネクターは、サイクルコンピューターのどのポートでも接続できますが、アシストスイッチの配線は、スイッチ側ポートへ接続することを推奨します。

ジャンクション(A)とスイッチユニット、ドライブユニットの接続 (EW-EN100)



- (A) スイッチユニット
- (B) ドライブユニット

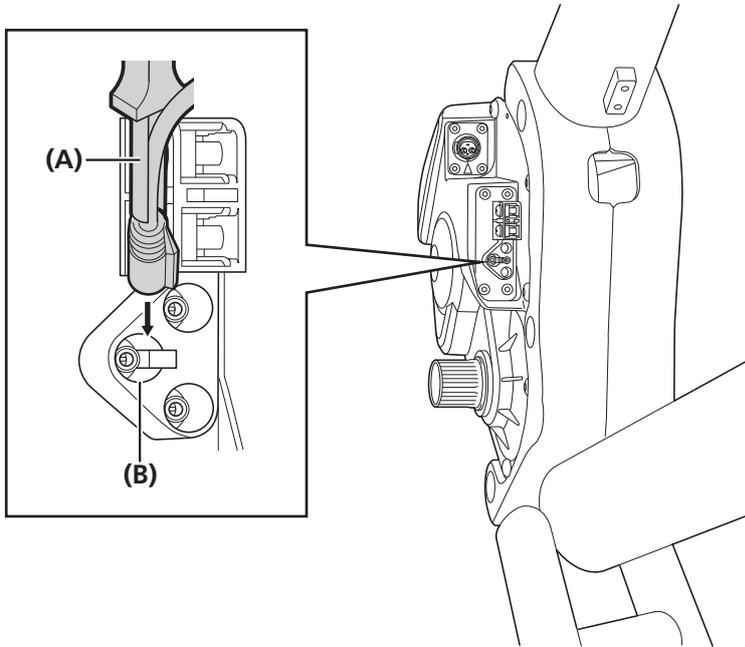
ドライブユニットとスピードセンサーの接続

TL-EW02を使用して、スピードセンサーユニットの電気ワイヤーをドライブユニットのスピードセンサーポートに接続します。

(A) TL-EW02

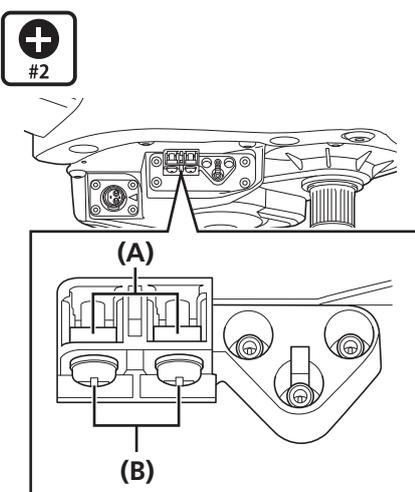
(B) スピードセンサーポート

TL-EW02



ライトケーブルとドライブユニットの接続

1



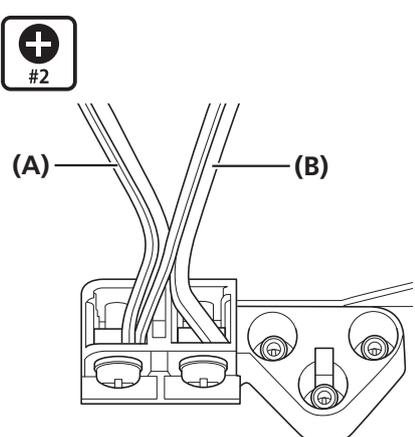
クランクとドライブユニットカバーを取外し、ライト接続端子部の固定ボルトをゆるめます。

- (A) ライト接続端子部
- (B) 固定ボルト



対応するライトは完成車メーカーにお問い合わせください。

2



フロントライトケーブル、テールライトケーブルを端子部に取付けて固定ボルトで締付けます。

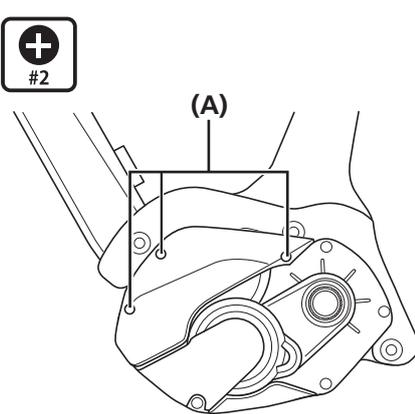
- (A) フロントライトケーブル
- (B) テールライトケーブル

締付けトルク



0.6 N·m

3



ドライブユニットカバーを取付けます。

3か所のカバー取付けボルト (M3) で締付けます。

- (A) カバー取付けボルト (M3)

締付けトルク

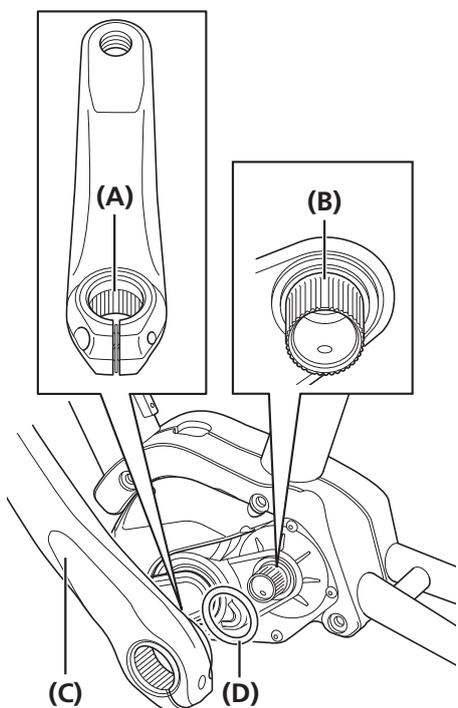


0.6 N·m

クランクとチェーンリングユニットの取付け

以下で説明の手順は電動式変速、機械式変速に関わらず全ての仕様でおこなってください。

1

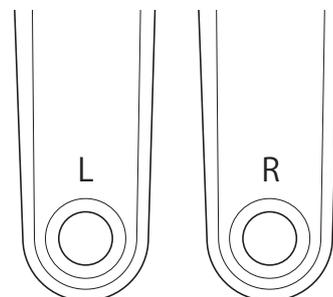


左クランクアームの幅広部とチェーンリング固定軸の幅広部を合わせてセットします。

- (A) 幅広部
(左クランクアーム)
- (B) 幅広部
(チェーンリング固定軸)
- (C) 左クランクアーム
- (D) 軸間座

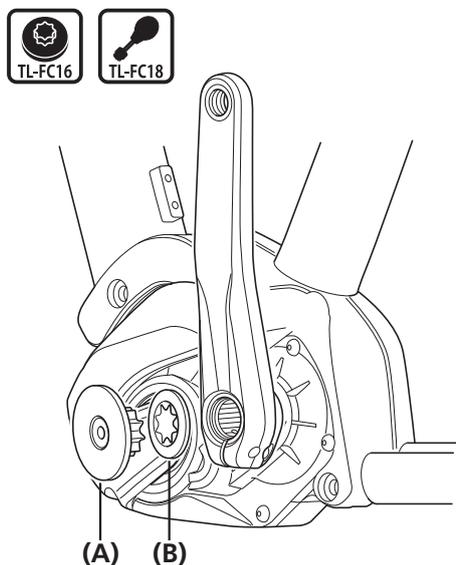
使用上の注意

クランクアームにはそれぞれ左右の指定があります。取付け時はL/Rマークの確認をおこなってください。



左クランクアーム 右クランクアーム

2



シマノ専用工具を使用してキャップを締付けてください。

- (A) TL-FC16/TL-FC18
- (B) キャップ

締付けトルク



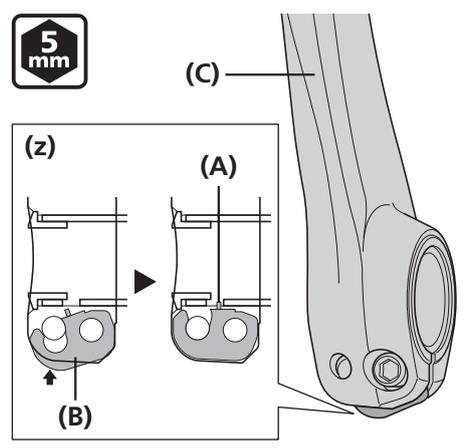
TL-FC16



TL-FC18

0.7 - 1.5 N·m

3



はずれ止めプレートを押込み、プレートピンが確実にセットされていることを確認し、左クランクアームのボルトを締付けます。

各ボルトを均等に指定の締付けトルク (12 - 14 N·m) で締付けてください。

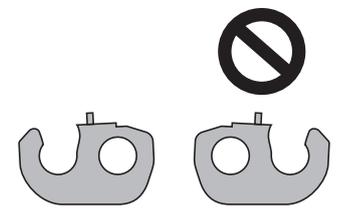
(z) 図は左クランクアーム (断面図)

- (A) プレートピン
- (B) はずれ止めプレート
- (C) 左クランクアーム

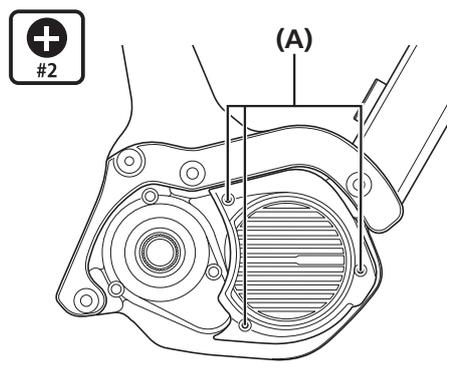
締付けトルク	
5 mm	12 - 14 N·m

使用上の注意

- 2本のボルトは一度に締付けることなく、交互に締付けてください。
- はずれ止めプレートには向きがありますので、必ず図に示されている方向でセットしてください。



4



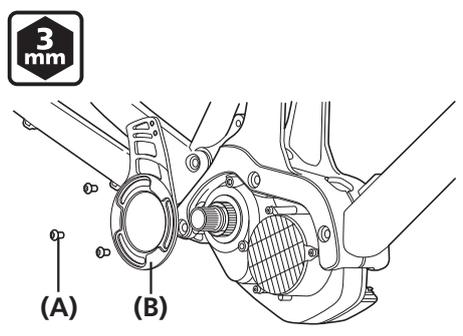
ドライブユニットカバーを取付けます。

3か所のカバー取付けボルト (M3) で締付けます。

- (A) カバー取付けボルト (M3)

締付けトルク	
+ #2	0.6 N·m

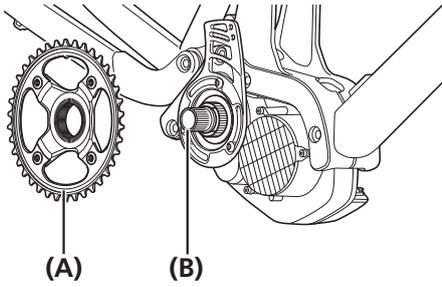
5



チェーンデバイスを使用する場合は、バックプレートチェーンリングユニットの固定部に仮止めします。

- (A) バックプレート
取付けボルト (M6)
- (B) バックプレート

6



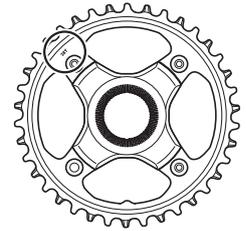
チェーンリング固定部の幅広部とチェーンリングの切り欠き部を合わせて差込んでください。

- (A) チェーンリングユニット
- (B) チェーンリング固定部

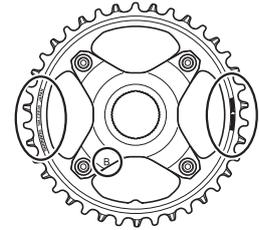
使用上の注意

- チェーンデバイスとチェーンリングユニットの互換性については、互換性情報 (<https://productinfo.shimano.com/>) をご確認ください。
- チェーンリングユニットの表裏に注意してください。表面にはギアサイズ(歯の数)が示されています。

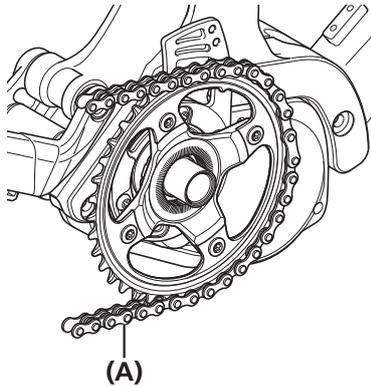
表



裏



7



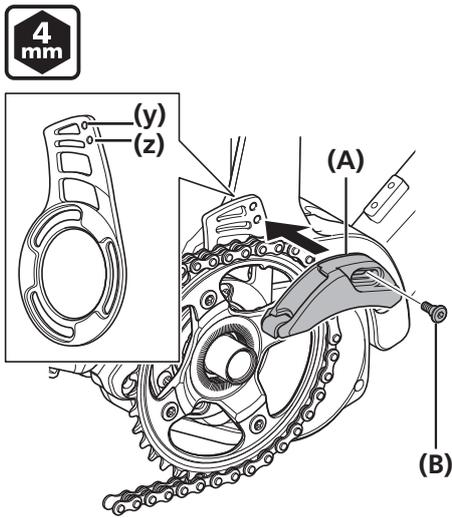
チェーンリングユニットにチェーンを取付けます。

- (A) チェーン

使用上の注意

チェーンを取付ける際は、チェーンリングユニットの歯の厚さ(厚/薄)とチェーンの内側の幅(広/狭)を一致させてください。

8



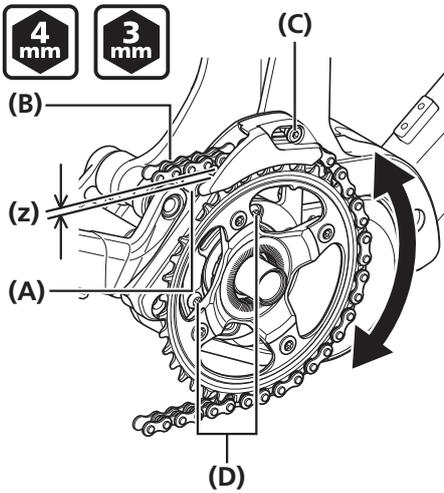
クランクの歯数に合わせてガイドの位置を決めます。

ガイド取付けボルト (M5) を仮締めしてガイドを取付けます。

- (y) 38T
- (z) 34T

- (A) ガイド
- (B) ガイド取付けボルト (M5)

9



チェーンデバイスを使用する場合は、チェーンを取付けた後バックプレートを回転させて、チェーンとラバーバンドとのクリアランスが0 ~ 1 mmになるように調整してください。

調整は以下の条件下でおこなってください。

- チェーンが最小スプロケットと組み合っている
- リアサスペンションが伸びた状態

調整後、バックプレートとガイドを本締めします。

- (z) 0 ~ 1 mm

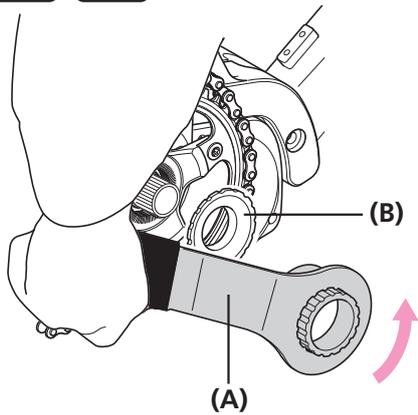
- (A) ラバーバンド
- (B) チェーン
- (C) ガイド取付けボルト (M5) (4 mm六角レンチ)
- (D) バックプレート取付けボルト (M6) (3 mm六角レンチ)

締め付けトルク

	4 N·m
	5 - 7 N·m

使用上の注意

リアサスペンション付自転車で SM-CDE80 を使用し、サグ位置でチェーンとチェーンデバイスが互いに干渉する場合には、最大スプロケットの位置でチェーンデバイスがチェーンに触れないように角度を調整してください。



ロックリングを手で締付けて、シマノ専用工具を取付けます。

左クランクを押さえながら、ロックリングを図に示す方向に締付けます。

(A) TL-FC39/TL-FC36

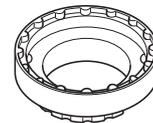
(B) ロックリング

締付けトルク

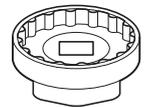
 	<p>35 - 45 N·m</p>
------	--------------------

使用上の注意

- トルクレンチを使用する場合は、TL-FC39とTL-FC33を組合わせて使用してください。



TL-FC39



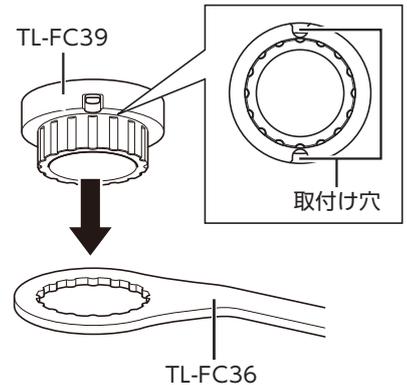
TL-FC33

- インパクトレンチを使用しないでください。

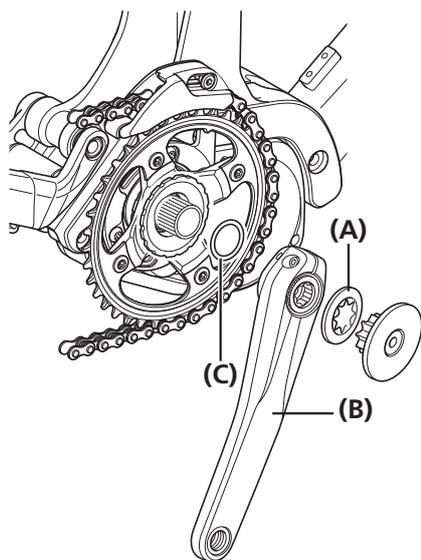


TECH TIPS

- ロックリングは左ねじです。
- シマノ専用工具を図のように組合わせます。TL-FC39の2つの取付け穴を使用してTL-FC36にセットします。



11



右クランクアームを取付けます。

シマノ専用工具を使用してキャップを締付けてください。

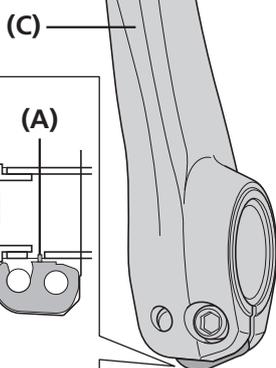
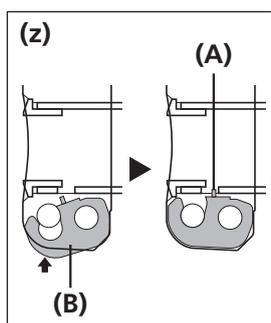
- (A) キャップ
- (B) 右クランクアーム
- (C) 軸間座

締付けトルク



0.7 - 1.5 N·m

12



はずれ止めプレートを押込み、プレートピンが確実にセットされていることを確認し、左クランクアームのボルトを締付けます。

各ボルトを均等に指定の締付けトルク (12 - 14 N·m) で締付けてください。

(z) 図は左クランクアーム (断面図)

- (A) プレートピン
- (B) はずれ止めプレート
- (C) 右クランクアーム

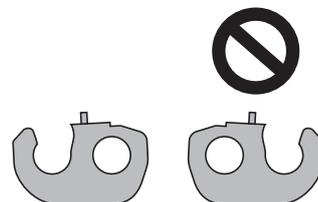
締付けトルク



12 - 14 N·m

使用上の注意

- 2本のボルトは一度に締付けることなく、交互に締付けてください。
- はずれ止めプレートには向きがありますので、必ず図に示されている方向でセットしてください。



4章 バッテリーの充電

バッテリーの上手な使い方

出荷状態ではバッテリーにディープスリープモードが働いており、すぐに使用できる状態ではありません。専用充電器で充電することによりディープスリープモードが解除されてバッテリーが使用可能になります。

バッテリー上のLEDが点灯すれば使用可能です。

また全てのコンポーネントが自転車に組付けられた完成車の状態でE-TUBE PROJECTに接続した場合もディープスリープモードを解除できます。

バッテリー残量に関係なくいつでも充電をおこなうことができますが、以下の場合には満充電をおこなってください。バッテリーの充電には専用充電器を使用してください。

- バッテリーは出荷時、使用できません。乗車前に必ずバッテリーを満充電まで充電してください。

バッテリーを完全に放電しきった際には、速やかに充電してください。放電状態のままにしておくと、バッテリーが劣化するおそれがあります。

- 長期間自転車に乗らない場合は、バッテリー残量を約70%の状態で保管してください。また、半年ごとに充電することで、バッテリーの完全放電を避けてください。
- バッテリーの充電中はE-TUBE PROJECTには接続しないでください。

シマノ指定のバッテリーを使用してください。

- E-TUBE PROJECTに接続して[接続確認]メニューを実行すると、ご使用のバッテリーがシマノ指定のバッテリーかどうかを確認できます。

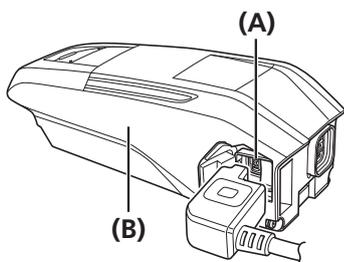
バッテリーの充電方法や取扱いの最新情報は、SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアルをご覧ください。

バッテリー単体で充電する場合

■ BT-E8010

1 充電器の電源プラグをコンセントに差込みます。

2



充電プラグをバッテリーの充電ポートに差込みます。

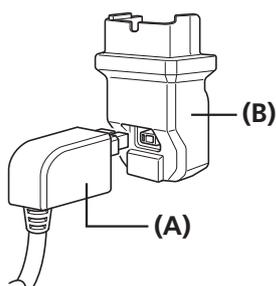
(A) 充電ポート
(B) バッテリー

使用上の注意

バッテリーの充電はバッテリーを屋内の平らな場所に置いておこなってください。

■ BT-E6010

1



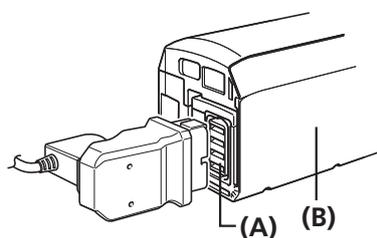
アダプターを充電器の充電プラグに接続します。

(A) 充電プラグ
(B) アダプター

2

充電器の電源プラグをコンセントにつなぎます。

3



アダプターをバッテリーの充電ポートに差し込みます。

* アダプターを充電ポートに差し込む場合、充電プラグがアダプターの下になるようにしてください。充電プラグがアダプターの上になる状態では、アダプターは差し込みません。

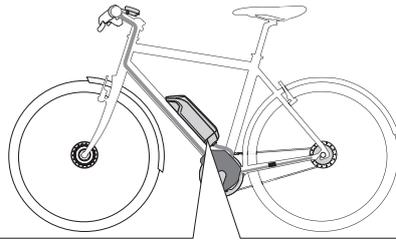
* バッテリーは屋内の平らな場所で充電してください。

(A) 充電ポート
(B) バッテリー

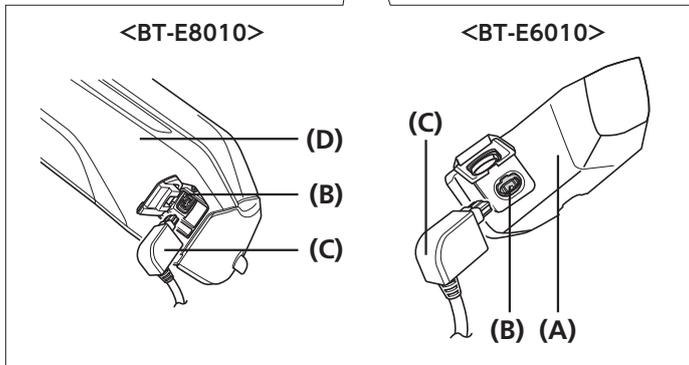
自転車に取付けた状態でバッテリーを充電する場合

1 充電器の電源プラグをコンセントに差込みます。

充電プラグ(C)をバッテリーマウント(A)またはバッテリー(D)の充電ポート(B)に差込みます。



2



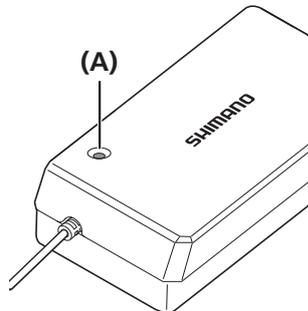
- (A) バッテリーマウント
- (B) 充電ポート
- (C) 充電プラグ
- (D) バッテリー



TECH TIPS

- 充電を開始する前に、充電器を床などの安定した場所に置いてください。
- 充電中に自転車が転倒しないように固定してください。

充電器のLEDランプについて



充電が開始されると、充電器のLEDランプが点灯します。

充電の状況は、バッテリーのバッテリー残量ランプで確認できます。

● 点灯	充電 (充電完了後1時間未満)
☀ 点滅	充電エラー
● 消灯	バッテリー切断 (充電完了後1時間以上経過)

(A) 充電器LEDランプ

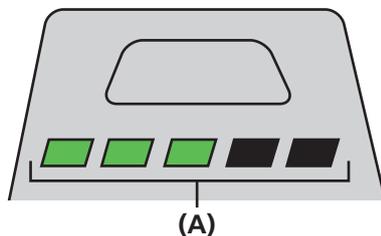
⚠ 危険

指定のバッテリーを充電する際は、当社指定の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る。発熱、破裂、発火の原因となります。

使用上の注意

新車の状態で長期保存する場合は、使用を開始する直前に充電してください。一度充電すると、わずかですがバッテリーの劣化が始まります。

バッテリーのLEDランプについて



(A) バッテリーLEDランプ

■ 充電中表示

バッテリー残量表示*1	バッテリー残量
	0 ~ 20%
	21 ~ 40%
	41 ~ 60%
	61 ~ 80%
	81 ~ 99%
	100%

*1 : 無灯 : 点灯 : 点滅

■ バッテリー残量表示

バッテリーの電源ボタンを押すと、現在のバッテリー残量を確認することができます。

バッテリー残量表示*1	バッテリー残量
	100 ~ 81%
	80 ~ 61%
	60 ~ 41%
	40 ~ 21%
	20 ~ 1%
	0% (バッテリーが自転車に取付けられていない状態)
	0%、電源OFF/シャットダウン (バッテリーが自転車に取付けられている状態)

*1 : 無灯 : 点灯 : 点滅

使用上の注意

バッテリー残量が少なくなると、システム機能は以下の順番で停止します。

1. パワーアシスト (アシストモードが自動的に[ECO]に切り替わり、その後アシストが停止します。バッテリー駆動ライトが接続されている場合には、[ECO]への切り替えタイミングが早くなります。)
2. 変速
3. ライト

■ エラー表示

システム異常などをバッテリーLEDランプの点灯パターンでお知らせします。

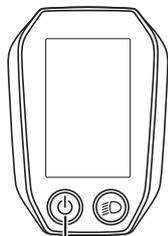
エラー表示の種類	表示条件	点灯パターン*1	回復
システム異常	自転車システムとの通信異常		ケーブルが緩んでいないか、適切に接続されているかを確認してください。 状況が改善されない場合は、代理店に連絡してください。
温度保護	温度が動作保証範囲を超えた場合、バッテリーの出力を停止します。		直射日光を避けた涼しい場所で、バッテリー内部の温度が十分下がるまで放置してください。 状況が改善されない場合は、代理店に連絡してください。
セキュリティ認証エラー	正規のドライブユニットが接続されていない場合に表示されます。 ケーブルが一部断線している場合に表示されます。		正規のドライブユニットとバッテリーを接続してください。 ケーブルの状態を確認してください。 状況が改善されない場合は、代理店に連絡してください。
充電エラー	充電中に異常があった場合に表示されます。		バッテリーと充電器の接続コネクタを外し、バッテリー単体で、電源スイッチを押してください。 バッテリー単体でもエラーが表示された場合は、代理店に問い合わせてください。
バッテリー故障	バッテリー内部の電気異常		一端充電器に接続した後に取外し、バッテリー単体で接続した状態で電源スイッチを押してください。 バッテリー単体でもエラーが表示された場合は、代理店に問い合わせてください。

*1 : 無灯 : 点灯 : 点滅

電源ON/OFF

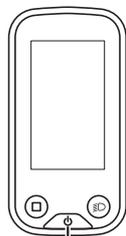
■ サイクルコンピューターの電源ボタンを使用する場合

< SC-E6010 >



(A)

< SC-E6100 >



(A)

< SC-E6010 >

サイクルコンピューターの電源ボタン (A) を2秒間長押しします。

< SC-E6100 >

サイクルコンピューターの電源ボタン (A) を押します。

(A) 電源ボタン

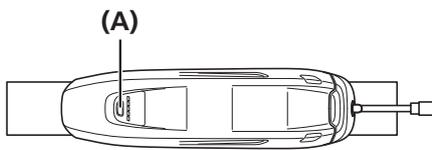
使用上の注意

サイクルコンピューターの内蔵バッテリー残量が無くなるとサイクルコンピューターが起動できなくなり電源操作ができません。電源ボタンを押しても画面が表示されない場合、以下のいずれかの操作で充電してください。

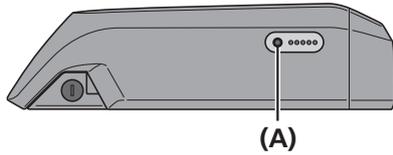
- (メイン) バッテリー本体の電源ボタンを押して電源をオンにしてください。
- 充電ポートを有するもしくは充電ポートが接続されているバッテリーホルダを搭載している場合、充電ポートから (メイン) バッテリーを充電してください。
- SM-PCE02を使用してPCと接続し、E-TUBE PROJECTから内蔵バッテリーを充電してください。充電中は残量低下アイコンが点滅し、完了するとアイコンが消えます。

■ バッテリーの電源ボタンを使用する場合

BT-E8010



BT-E6010



バッテリーの電源ボタンを押します。

LEDランプが点灯し、バッテリーの残量を示します。

(A) 電源ボタン

使用上の注意

- 電源を投入する前に、バッテリーがホルダーにしっかりと取付けられていることを確認してください。
- 充電中に電源をオンにすることはできません。
- 電源をオンにするときには、ペダルに足を置かないでください。システムエラーが発生することがあります。



TECH TIPS

- 電源を強制的にOFFにするには、電源ボタンを6秒間長押しします。
- 自転車を10分間動かさないと、電源は自動的にOFFになります。(オートパワーOFF機能)

■ 電源オン時の画面表示

SC-E7000



SC-E6010/SC-E6100

通常起動時

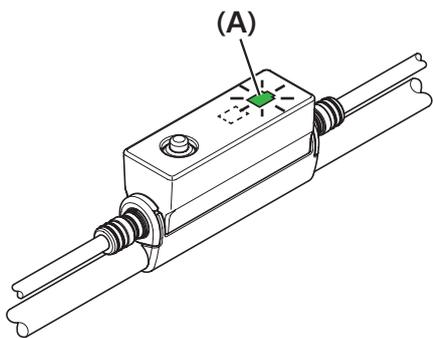


バッテリー残量が少ない場合 (SC-E6100)



* サイクルコンピューターのバッテリー残量が少なくなっています。

EW-EN100



主電源がオンになると、左記のような画面が表示されたあと、基本画面に切り替わります。

< EW-EN100 >

主電源がオンになると、LED2が点灯します。

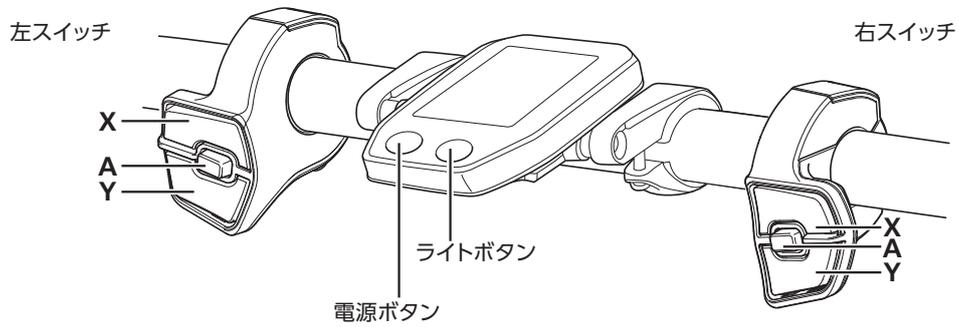
(A) LED2

5 章 操作方法

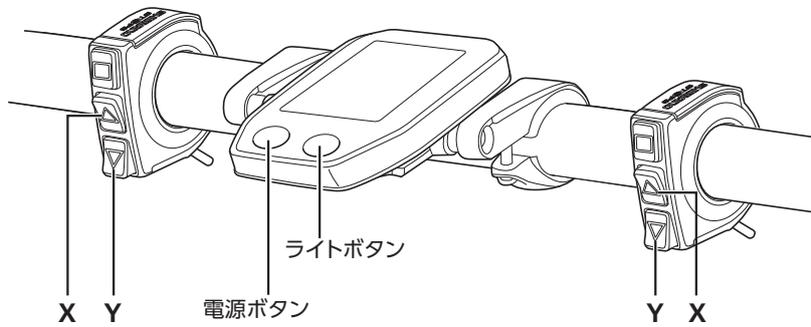
基本操作

■ サイクルコンピューターとスイッチユニット

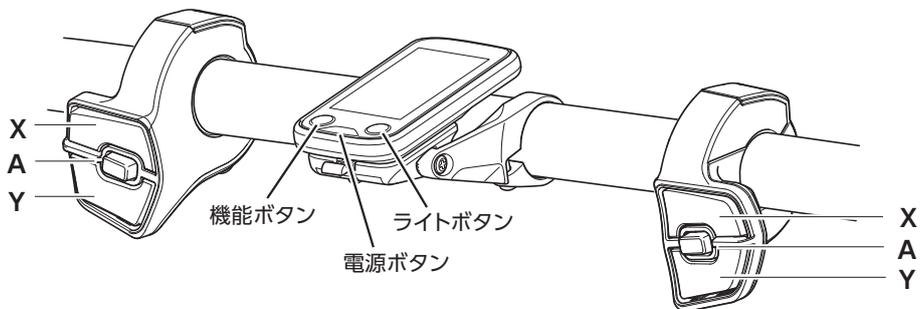
SC-E6010/SW-E6010



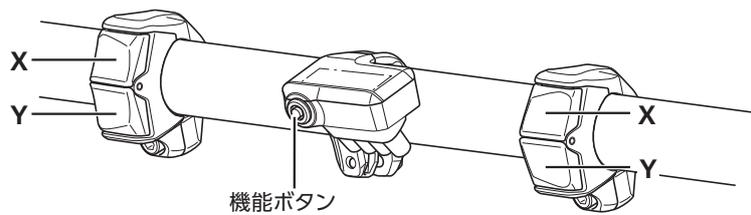
SC-E6010/SW-E6000



SC-E6100/SW-E6010



SC-E7000/SW-E7000



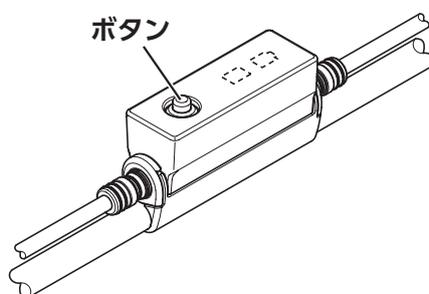
左スイッチ (デフォルト：アシスト用)		右スイッチ (デフォルト：電動変速用)	
アシスト-X	乗車時： アシスト力をアップ 設定時： カーソルの移動や設定の変更	シフト-X	乗車時： シフトアップ
アシスト-Y	乗車時： アシスト力をダウン 設定時： カーソルの移動や設定の変更	シフト-Y	乗車時： シフトダウン
アシスト-A	乗車時： サイクルコンピューターの走行 情報表示の切替え 設定時： サイクルコンピューターの画面 切替えや変更した設定の確定	シフト-A	乗車時： サイクルコンピューターの走行 情報の表示を切替え

サイクルコンピューター (SC-E6010/SC-E6100)			
機能ボタン (SC-E6100)	乗車時： サイクルコンピューターの走行 情報表示の切替え 設定時： サイクルコンピューターの画面 切替えや変更した設定の確定	ライトボタン	ライトのON/OFF
		電源ボタン	電源のON/OFF

サイクルコンピューター (SC-E7000)	
機能ボタン	乗車時： サイクルコンピューターの走行情報表示の切り替え 設定時： サイクルコンピューターの画面切り替えや変更した設定の確定

■ ジャンクション (A)

EW-EN100はサイクルコンピューターの代わりに使用することができ、アシストモードの変更機能を持ちます。



ジャンクション (A) (EW-EN100)	
ボタン	押す： 押すたびにアシストモードを変更 長押し (約2秒)： ライトのON/OFF

使用上の注意

EW-EN100のボタンは走行中の操作を推奨しません。乗車前にお好みのアシストモードを選択してください。



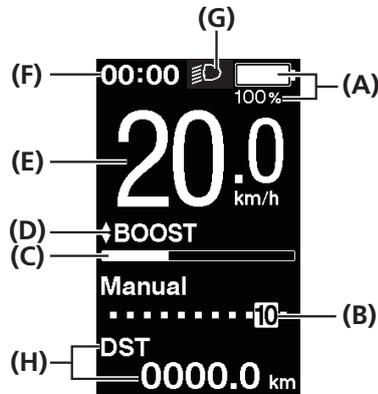
TECH TIPS

ボタンには設定モードへの切り替え機能も割り当てられています。詳細は「操作方法」の「設定モード (EW-EN100)」を参照してください。

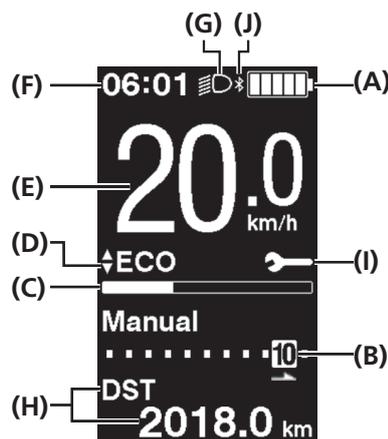
サイクルコンピューター/ジャンクション (A) の表示と設定

■ サイクルコンピューターの基本画面表示

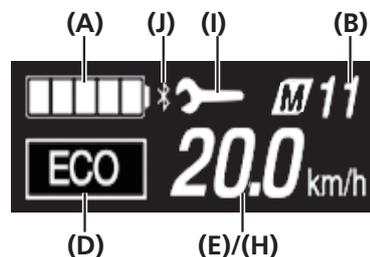
SC-E6010



SC-E6100



SC-E7000



(A) バッテリー残量表示

現在のバッテリー残量を表示します。

(B) ギア位置 (電動変速時にのみ表示)

現在のギア位置を表示します。

☐ 現在のギア段数 (SC-E6010/SC-E6100)

☑ 変速アドバイス *1 (SC-E6100)

走行時の自転車の状態から、変速をお勧めするタイミングをお知らせします。

(C) アシストゲージ

アシストのレベルを表示します。

(D) 現在のアシストモード

(E) 現在速度 *2

現在の速度を表示します。
km/hとmphを切り替え可能です。

(F) 現在時刻

現在の時刻を表示します。

(G) ライトアイコン

ドライブユニットに接続したライトが点灯している場合に表示されます。

(H) 走行情報表示

現在の走行情報を表示します。

(I) メンテナンスアラート

メンテナンス時期を通知します。
このアイコンが表示されたら、購入された販売店にご相談ください。

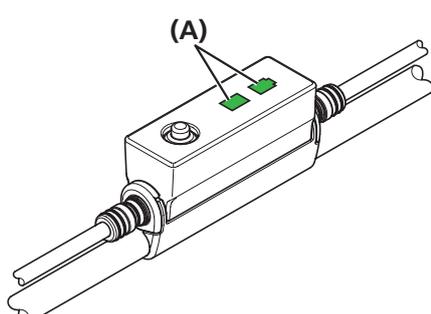
(J) Bluetooth® LEアイコン

Bluetooth® LE接続時に表示されます。

* 1 電動変速の場合のみ

* 2 SC-E7000では、このエリアを走行情報表示に切り替えることができます。

■ ジャンクション (A) の基本状態表示

<p>EW-EN100</p>  <p>(A)</p>	<p>LEDは下記の状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 現在のバッテリー残量• 現在のアシストモード <p>詳細は「操作方法」の「バッテリー残量表示」(次項) および「操作方法」の「アシストモード」を参照してください。</p>
--	--

(A) LED

バッテリー残量表示

SC-E6100/SC-E7000

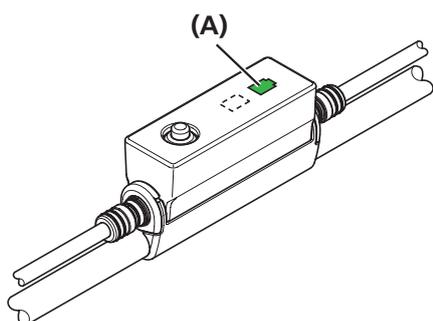
表示	バッテリー残量
	100 ~ 81%
	80 ~ 61%
	60 ~ 41%
	40 ~ 21%
	20 ~ 1%
	0%

SC-E6010

表示	バッテリー残量
	100%
	↕
	0%

EW-EN100

LED2の表示	バッテリー残量
(点灯)	100 ~ 21%
(点灯)	20%以下
(点滅)	残りわずか



バッテリー残量はアイコンで表示されます。

< EW-EN100 >

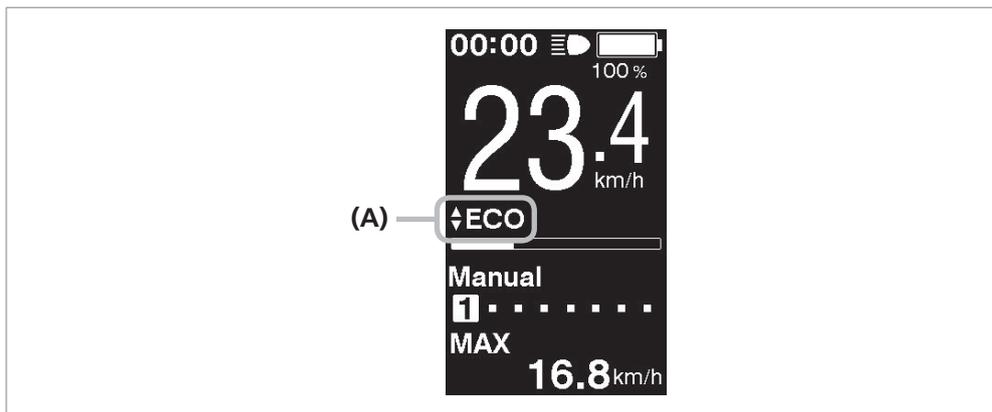
電源がONになっている間、LED2がバッテリー残量を表示します。

(A) LED2



- SC-E7000の場合、バッテリー残量がわずかになると、バッテリー残量表示が点滅します。
- サイクルコンピューター、バッテリーに表示される残量表示は、アシスト停止後のライト点灯等も含めたシステム全体が停止する状態を0として表示します。そのため、設定によっては、残量表示が0%になる前にアシストが停止します。

アシストモード



(A) アシストモード表示

■ スイッチユニットによるアシストモードの切り替え方法

アシスト

アシストスイッチのXまたはYを押してアシストモードを切り替えます。

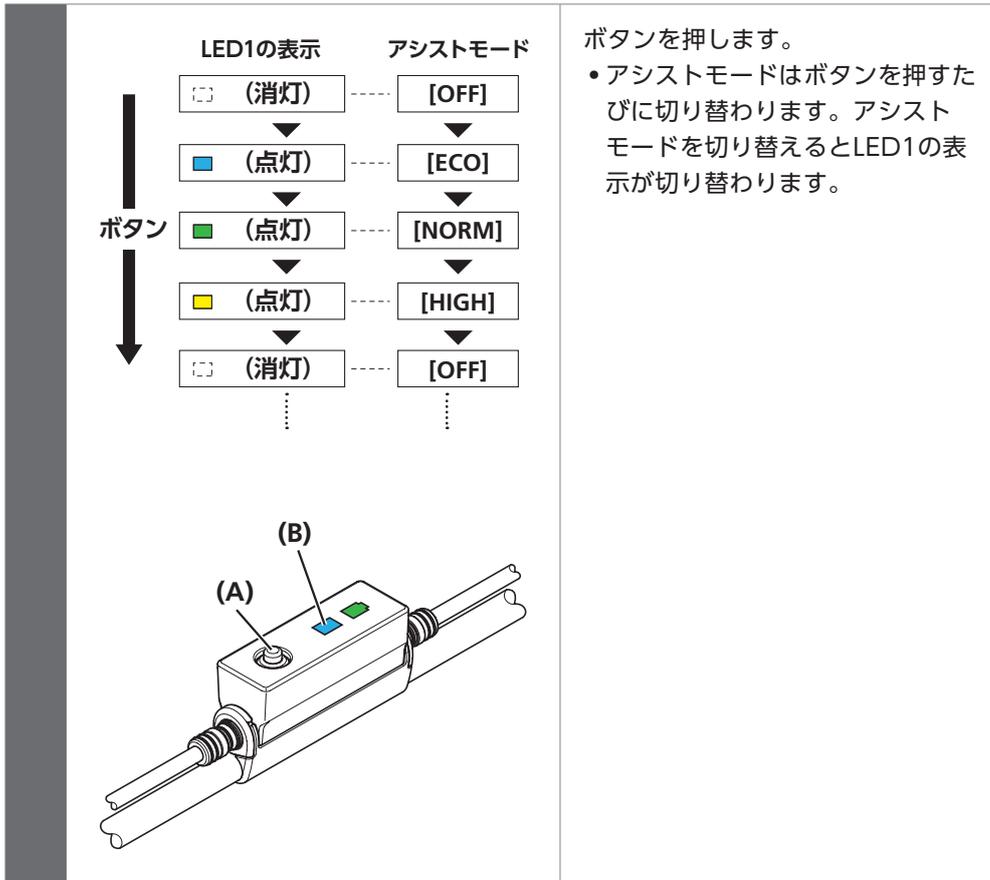
アシストモード表示	アシストモード
[HIGH]	アシスト強
[NORM]	アシスト中
[ECO]	アシスト弱
[OFF]	アシスト[OFF]

TECH TIPS

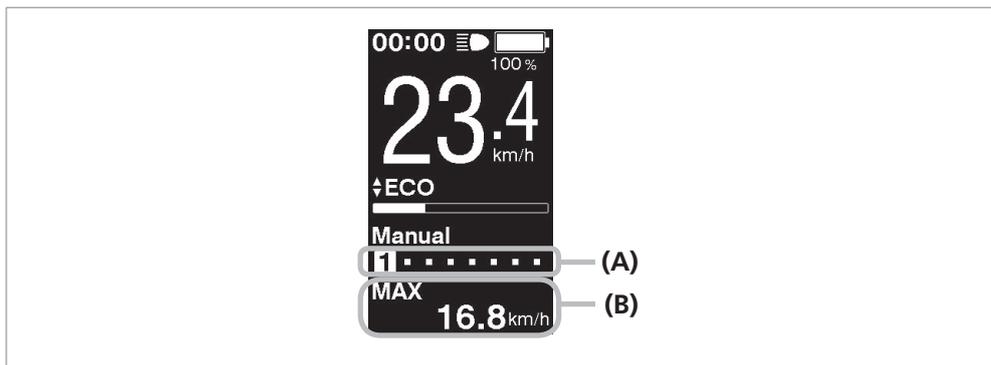
スイッチユニットをEW-EN100に接続している場合、次項に示すようにLED表示でアシストモードを表示します。

■ EW-EN100によるアシストモードの切り替え方法

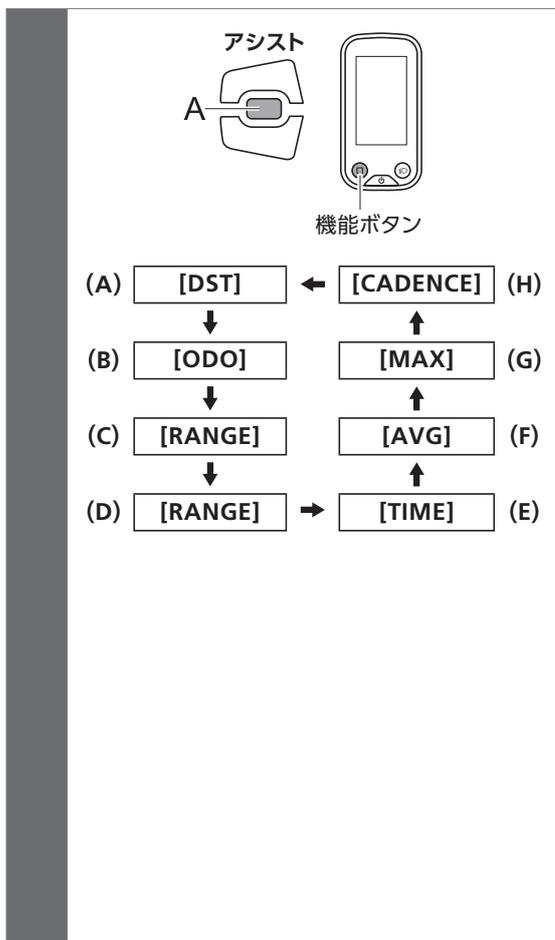
乗車中は操作を推奨しないことをお客様にご説明ください。



走行情報の表示切り替え (SC-E6010/SC-E6100)



- (A) ギア段数 (電動変速時のみ)
- (B) 走行情報



アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すたびに表示されている走行情報が切り替わります。(機能ボタンはSC-E6100のみ)

- (A) 走行距離
- (B) 積算距離
- (C) 走行可能距離 *1
- (D) アシストモード別走行可能距離 *1 *2 *3
- (E) 走行時間 (オプション) *3
- (F) 平均速度 (オプション) *3
- (G) 最高速度 (オプション) *3
- (H) クランク回転数 *3

TECH TIPS

- *1 表示される数値は参考値です。
- *2 図の表示になります。このときギア段数の表示はできません。

RANGE	
HIGH	61 km
NORM	77 km
ECO	97 km

- *3 オプション項目：E-TUBE PROJECTで表示の設定ができます。詳しくは「端末との接続通信」の「E-TUBE PROJECTで設定変更可能な項目」を参照してください。

■ 走行距離のリセット (SC-E6010/SC-E6100)

基本画面で走行距離のクリアが実行できます。

1 走行情報の表示を[DST]に変更してから、アシストスイッチのAまたは機能ボタンを2秒間長押しします。

指を放すと[DST]が点滅します。

2 この状態でアシストスイッチのAまたは機能ボタンを再び押すと走行距離がクリアされます。

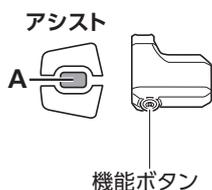


- [DST]の表示が点滅した状態で5秒間操作しないと、点滅が止まります。
- 走行距離をリセットすると、[TIME] (走行時間)、[AVG] (平均速度)、および[MAX] (最大速度)の内容もリセットされます。

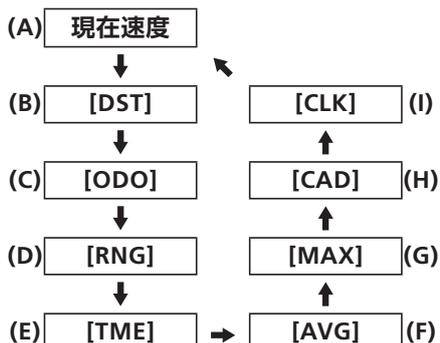
走行情報表示の切り替え (SC-E7000)



- (A) 現在速度表示
- (B) 走行情報表示



アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すたびに表示されている走行情報が切り替わります。



- (A) 現在速度
- (B) 走行距離
- (C) 積算距離
- (D) 走行可能距離 *1
- (E) 走行時間 *2
- (F) 平均速度 *2
- (G) 最大速度 *2
- (H) クランク回転数 *2
- (I) 現在時刻 *2

*1 走行可能距離は参考値です。

*2 オプション項目です。E-TUBE PROJECTを接続すると、表示/非表示を設定できます。

■ 走行距離のリセット (SC-E7000)

基本画面に表示される走行距離をリセットします。走行距離をリセットすると、[TME] (走行時間)、[AVG] (平均速度)、[MAX] (最高速度) も同時にリセットされます。

1 アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押して、走行情報表示を[DST]に切り替えます。

2 [DST] 表示の値が点滅するまで、アシストスイッチのAまたは機能ボタンを長押しします。

3 再びアシストスイッチのAまたは機能ボタンを押します。

- 走行情報がリセットされます。
- [DST]の数値が点滅し始めてから5秒間放置すると、点滅が止まり、基本画面に戻ります。

ライトの点灯と消灯 (SC-E6010/SC-E6100)

ライトとドライブユニットを接続している場合、サイクルコンピューターでライトを操作することができます。



* 仕様により、サイクルコンピューターのライトボタンにはアイコンが印字されていない場合があります。

ライト点灯時



ライト消灯時



サイクルコンピューターのライトボタンを押します。

ライトが点灯します。
ライトが点灯している間は、ライトアイコンが画面に表示されます。
再度ライトボタンを押すとライトが消灯します。
ライトが消灯すると、画面上のライトアイコンも非表示になります。

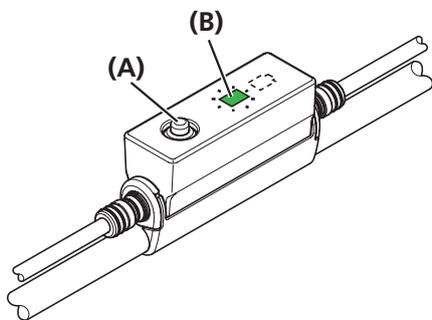
SC-E7000を使用している場合、ライトは設定メニューから操作します。



- ドライブユニットにライトを接続していない場合、サイクルコンピューターの設定メニューで[Backlight]を[MANUAL]に設定すると、サイクルコンピューターのライトボタンでバックライトの点灯/消灯のみを操作できます。この場合、バックライトを点灯にしても画面上にライトの点灯を示すアイコンは表示されません。
- ライトの消灯は、バッテリー本体電源のOFFと連動します。本体の電源がOFFのときにライトは点灯しません。

ライトのON/OFF (EW-EN100)

ライトをドライブユニットに接続している場合、サイクルコンピューターまたはジャンクション (A) からライトを操作できます。ここでは、EW-EN100でのライト操作について説明しています。



ライトが点灯するまでボタンを長押しします (約2秒)。

- ライトが点灯すると、LED1が点滅します。

- (A) ボタン
(B) LED1



- ライトのOFFは、主電源のOFFと連動します。主電源がOFFのときにライトはONになりません。
- 乗車中にボタンを押してライトをOFFにすることはできません。

設定メニューの表示方法

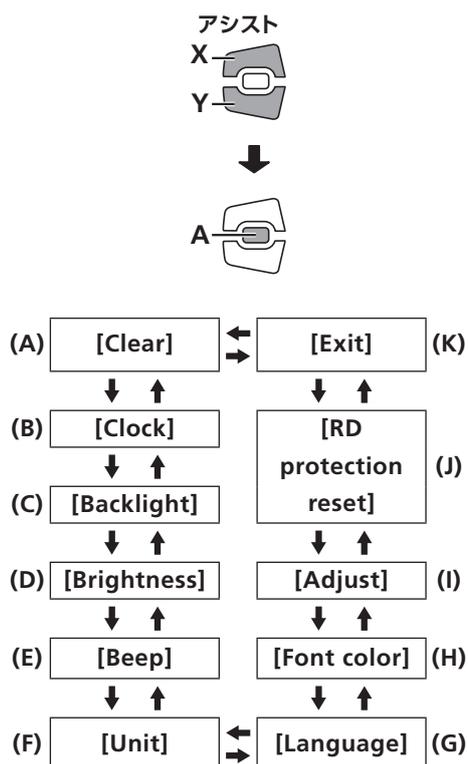
■ 設定メニュー画面を表示する (SC-E6010)

停車状態でアシストスイッチのXまたはYを長押しすると設定メニューが表示されます。

1



2



アシストスイッチのXまたはYを押して、設定したいメニュー項目を選択します。アシストスイッチのAを押すと、選択したメニュー項目の設定画面が表示されます。

- (A) 設定クリア
- (B) 時計設定
- (C) ディスプレイバックライトのON/OFF
- (D) ディスプレイのバックライト輝度設定
- (E) ビープ音のON/OFF
- (F) km/mile切り替え
- (G) 言語設定
- (H) フォントカラーの変更
- (I) 電動変速ユニットの変速調整
- (J) RDプロテクションリセットの起動*
- (K) メイン画面に戻る

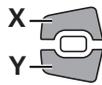


* 転倒などからシステムを保護するため、強い衝撃を受けると、RDプロテクション機能が働き、モーターとリンク部の接続が一時的に解除されリアディレクターが正しく動作しなくなります。RDプロテクションリセットを実行すると、モーターとリンク部の接続が回復し、リアディレクターの機能が復旧します。

■ 設定メニュー画面を表示する (SC-E6100/SC-E7000)

停車状態でアシストスイッチのXまたはYを長押しすると設定メニューが表示されます。

アシスト



< SC-E6100 >

< 基本画面 >



< 設定メニュー画面 >



1

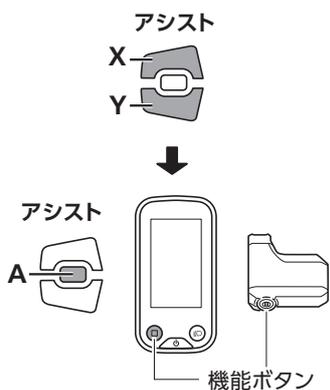
< SC-E7000 >

< 基本画面 >



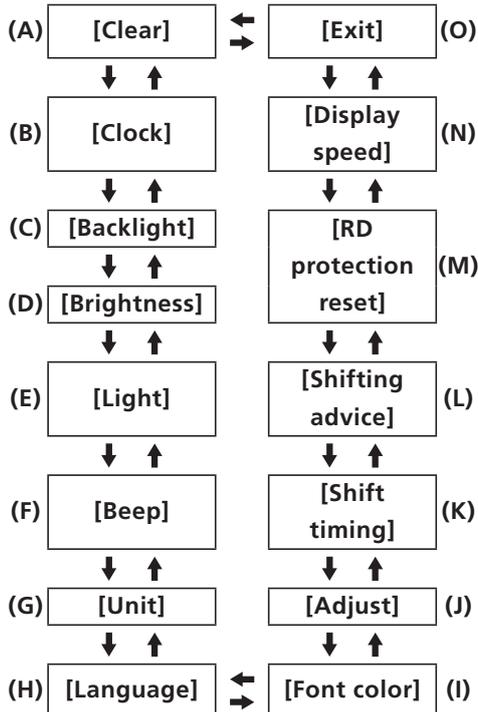
< 設定メニュー画面 >





アシストスイッチのXまたはYを押して、設定したいメニュー項目を選択します。アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すと、選択したメニュー項目の設定画面が表示されます。

SC-E6100/SC-E7000



- (A) 設定クリア
- (B) 時計設定
- (C) ディスプレイのバックライトのON/OFF (SC-E6100)
- (D) ディスプレイのバックライト輝度設定 (SC-E6100)
- (E) ライトのON/OFF (SC-E7000)
- (F) ビープ音のON/OFF
- (G) km/mile切り替え
- (H) 言語設定
- (I) フォントカラーの変更
- (J) 電動変速ユニットの変速調整
- (K) 変速アドバイスの表示タイミングを調整 (SC-E6100)
- (L) 変速タイミングを調整 (SC-E6100)
- (M) RDプロテクションリセットの起動*
- (N) ディスプレイの速度表示の誤差を調整
- (O) メイン画面に戻る

 TECH TIPS

* 転倒などからシステムを保護するため、強い衝撃を受けると、RDプロテクション機能が働き、モーターとリンク部の接続が一時的に解除されリアディレクターが正しく動作しなくなります。RDプロテクションリセットを実行すると、モーターとリンク部の接続が回復し、リアディレクターの機能が復旧します。

■ [Clear] 設定リセット

走行距離をリセットします。また、表示設定をデフォルトの状態にリセットします。

1

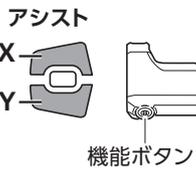


アシスト
X
Y

アシストスイッチのXまたはYを押してリセットしたい項目を選択します。

項目	内容
[Exit]	設定メニュー画面に戻ります。
[DST]	走行距離をリセットします。
[Default]	サイクルコンピューターの表示設定をデフォルトにリセットします。

2



アシスト
X
Y
機能ボタン

アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すと、選択した項目がリセットされます。

画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

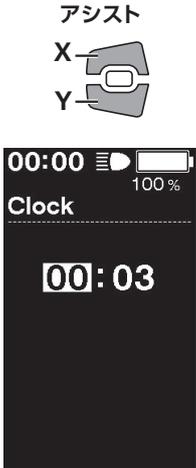
TECH TIPS

- 走行距離をリセットすると、[TIME] (走行時間)、[AVG] (平均速度)、および[MAX] (最大速度)の内容もリセットされます。
- SC-E6010/SC-E6100の場合、表示設定をリセットすると、下記の状態になります。

設定可能な項目	デフォルト値
[Exit]	[ON]
[DST]	[ON]
[Default]	[km]
[Language]	[English]
[Brightness]	[3]
[Font color]	[White]

■ [Clock] 時刻設定

時刻の設定は、時→分の順番でおこないます。

1		<p>アシストスイッチのXまたはYを押して現在時刻を合わせます。</p>
---	---	--------------------------------------

2		<p>アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すと設定が有効となり、分の設定へ移動します。</p>
---	--	---

3	<p>アシストスイッチのXまたはYを押して分を合わせます。</p>
4	<p>アシストスイッチのAを押すと選択した項目が有効になります。画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。</p>



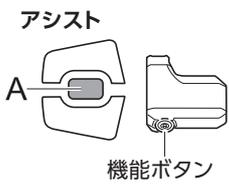
- アシストスイッチのXを押すと数字が大きくなります。
- アシストスイッチのYを押すと数字が小さくなります。



手順1や3で、アシストスイッチのA、XまたはYを長押しすると、すばやく数値を切り替えることができます。

■ [Light] ライトのON/OFF (SC-E7000)

ドライブユニットに接続したライトをON/OFFします。

1	<p>アシスト</p> 	<p>アシストスイッチのXまたはYを押して希望する設定を選択します。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">[ON]</td> <td>常時点灯</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[OFF]</td> <td>常時消灯</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	[ON]	常時点灯	[OFF]	常時消灯
項目	内容							
[ON]	常時点灯							
[OFF]	常時消灯							
								
2	<p>アシスト</p>  <p>機能ボタン</p>	<p>アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押して設定を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 確認後、画面が自動的にメニューリスト画面に戻ります。 <p>SW-E6010を使用している場合、アシストスイッチのAでも操作できます。</p>						

■ [Backlight] バックライト設定 (SC-E6010/SC-E6100)

サイクルコンピューターの画面のバックライトを設定します。

1

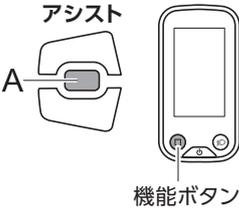


アシスト
X
Y

アシストスイッチのXまたはYを押して設定したい項目を選択します。

項目	内容
[ON]	バックライトを常時点灯します。
[OFF]	バックライトを常時消灯します。
[MANUAL]	ライトの点灯/消灯と連動してバックライトを点灯/消灯させます。

2



アシスト
A

機能ボタン

アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すと選択した項目が有効になります。

- 画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

TECH TIPS

ドライブユニットにライトを接続していない場合、[Backlight]を[MANUAL]に設定すると、サイクルコンピューターのライトボタンでバックライトの点灯/消灯のみを操作できます。

■ [Brightness] バックライト輝度設定 (SC-E6010/SC-E6100)

バックライトの輝度をお好みに合わせて設定できます。

1



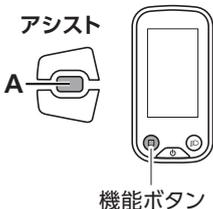
アシスト
X
Y

アシストスイッチのXまたはYを押して輝度を調整します。

TECH TIPS

輝度は5段階で調整できます。

2



アシスト
A

機能ボタン

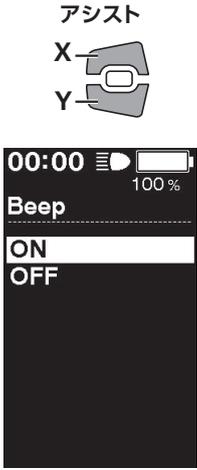
アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すと選択した項目が有効になります。

- 画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

■ [Beep] ビープ音設定

ビープ音を鳴らすかどうかを設定します。

1



アシスト
X
Y

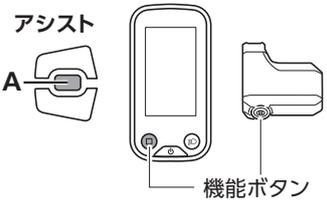
アシストスイッチのXまたはYを押して設定したい項目を選択します。

項目	内容
[ON]	ビープ音を鳴らします。
[OFF]	ビープ音を鳴らしません。



[Beep]が[OFF]に設定されている場合でも、誤操作やシステム異常などの場合はビープ音が鳴ります。

2



アシスト
A
機能ボタン

アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すと選択した項目が有効になります。

- 画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

■ [Unit] km/mile切り替え

距離の単位をkmまたはmileから選択します。同時に速度の表示もkm/hまたはmphに切り替わります。

1

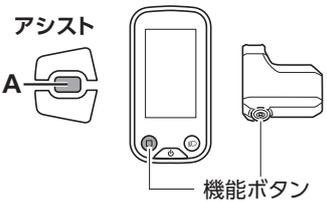


アシスト
X
Y

アシストスイッチのXまたはYを押して設定したい項目を選択します。

項目	内容
[km]	km表示
[mile]	mile表示

2



アシスト
A
機能ボタン

アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すと選択した項目が有効になります。

- 画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

■ [Language] 言語設定

サイクルコンピューターの表示言語を設定します。

1



アシスト
X
Y

アシストスイッチのXまたはYを押して設定したい項目を選択します。

項目	内容
[English]	英語
[Français]	フランス語
[Deutsch]	ドイツ語
[Nederlands]	オランダ語
[Italiano]	イタリア語
[Español]	スペイン語

2



アシスト
A
機能ボタン

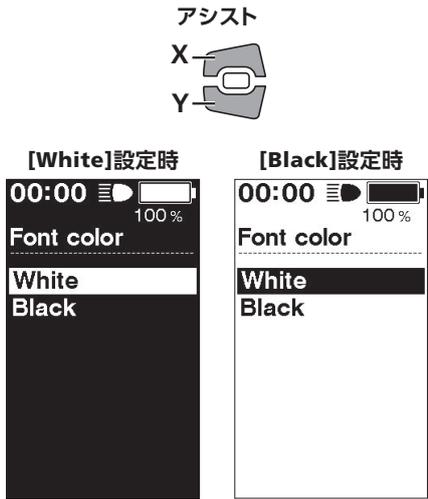
アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すと選択した項目が有効になります。

- 画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

■ [Font color] フォントカラー設定

サイクルコンピューターの表示文字色を選択します。

1



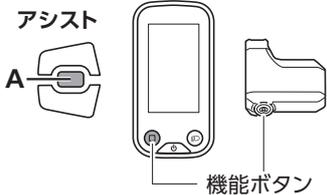
アシスト
X
Y

[White]設定時 [Black]設定時

アシストスイッチのXまたはYを押して設定したい項目を選択します。

項目	内容
[White]	黒背景に白文字で表示されます。
[Black]	白背景に黒文字で表示されます。

2



アシスト
A
機能ボタン

アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押すと選択した項目が有効になります。

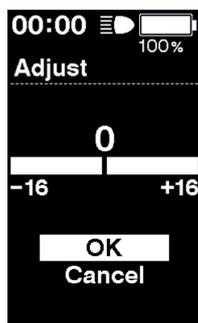
- 画面は自動的に設定メニュー画面に戻ります。

■ [Adjust] 電動変速ユニットの変速調整

電動変速機の変速調整をおこないます。

⚠ 注意

調整作業は変速に違和感がある場合にのみおこなう。正常な状態で不要な調整作業をおこなうと、変速性能が劣化します。調整が大きすぎるとペダリング時に空転し、転倒事故につながる可能性があります。



Adjust画面を開き、Adjust値を確認します。
Adjust値が[0]になっているかそうでないかで、以降の調整手順が異なります。

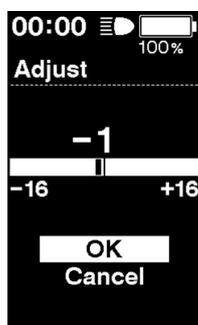
Adjust値の確認



設定は-16 ~ 16の範囲内でおこないます。

Adjust値が[0]の場合

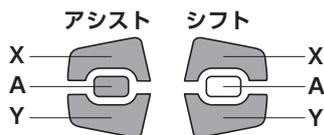
アシスト
X
Y



アシストスイッチのXまたはYを押して、Adjust値を+側または-側に1段調整します。

1

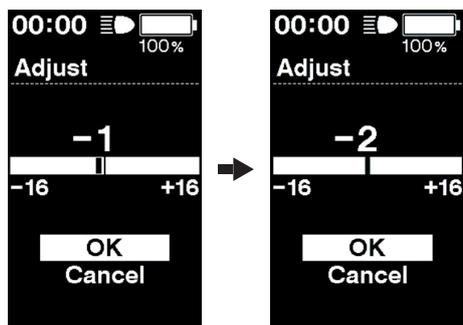
2



アシストスイッチのXまたはYを押して[OK]を選択し、アシストスイッチのAを押します。

次に、クランクを回しながらシフトスイッチのXおよびYを押して変速操作を繰り返し、調整前と比較して症状を確認します。

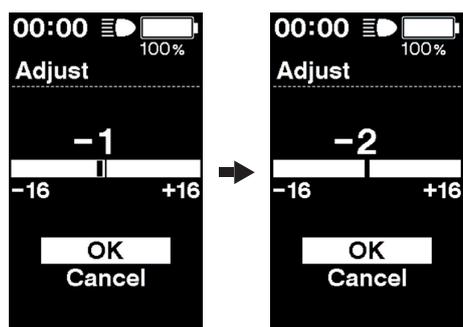
3



症状が改善された場合

同じ方向にAdjust値を1段調整し、再度変速操作をして症状を確認します。

この手順を異音や違和感がなくなるまで繰り返してください。

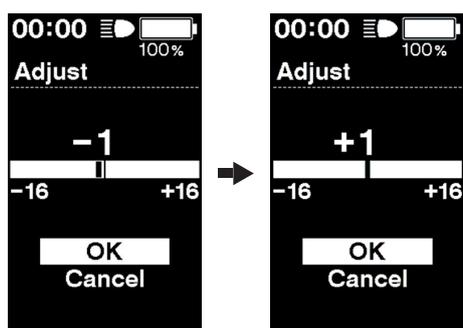


明らかな変化がない場合

同じ方向にAdjust値を1段調整し、再度変速操作をして症状を確認します。

症状が改善された場合は、「**症状が改善された場合**」を参照してください。

症状が悪化した場合は、「**症状が悪化した場合**」を参照してください。



症状が悪化した場合

逆の方向にAdjust値を2段調整し、再度変速操作をして症状を確認します。

異音や違和感がなくなるまで、同じ方向に1段ずつ調整、確認をおこなってください。

4

最後に実走をおこない、異音や違和感が無いかどうかを確認します。

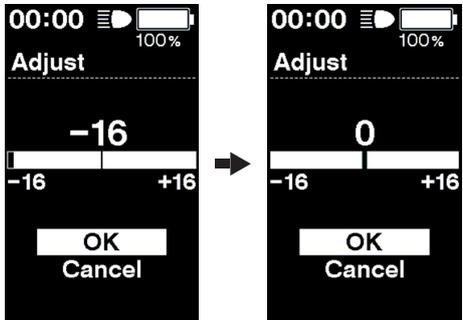
Adjust値が [0] 以外の場合

アシスト

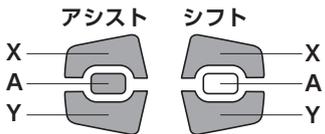


アシストスイッチのXまたはYを押して、設定値を[0]に戻します。

1



アシスト シフト



アシストスイッチのXまたはYを押して[OK]を選択し、アシストスイッチのAを押します。

次に、クランクを回しながらシフトスイッチのXおよびYを押して変速操作を繰り返し、調整前と比較して症状を確認します。

異音や違和感がある場合は、「設定値が[0]の場合」を参照してください。

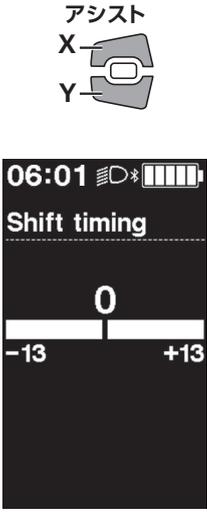
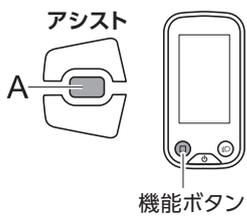
2

3

最後に実走をおこない、異音や違和感が無いかどうかを確認します。

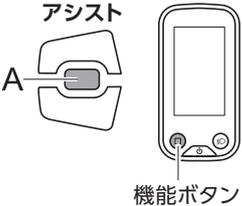
■ [Shift timing] 表示タイミング設定 (SC-E6100)

変速アドバイスの表示タイミングを設定します。

<p>1</p>		<p>アシストスイッチのXまたはYを押して数値を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> アシストスイッチのXを押して値を大きくすると、表示タイミングはペダリングを楽にする方向に調整されます。 アシストスイッチのYを押して値を小さくすると、表示タイミングはペダリングを重くする方向に調整されます。
<p>2</p>		<p>アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。</p> <p>* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。</p>

■ [Shifting advice] 変速アドバイス設定 (SC-E6100)

マニュアル変速時、変速推奨タイミングをサイクルコンピューターの表示で知らせるかどうかを設定します。

1	<p>アシスト X Y</p>  	<p>アシストスイッチのXまたはYを押して、必要な設定項目を選択します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定可能な項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[ON]</td> <td>変速アドバイス機能を有効にし、手動変速時に変速推奨タイミングをアイコン表示でお知らせします。</td> </tr> <tr> <td>[OFF]</td> <td>変速アドバイス機能を無効にします。</td> </tr> </tbody> </table>	設定可能な項目	内容	[ON]	変速アドバイス機能を有効にし、手動変速時に変速推奨タイミングをアイコン表示でお知らせします。	[OFF]	変速アドバイス機能を無効にします。
設定可能な項目	内容							
[ON]	変速アドバイス機能を有効にし、手動変速時に変速推奨タイミングをアイコン表示でお知らせします。							
[OFF]	変速アドバイス機能を無効にします。							
2	<p>アシスト A</p>  <p>機能ボタン</p>	<p>アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。</p> <p>* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。</p>						

■ [RD Protection Reset] RD プロテクションリセット

転倒などからシステムを保護するため、リアディレーラーに強い衝撃を受けると、RDプロテクション機能が働きます。モーターとリンク部の接続が一時的に解除され、リアディレーラーが正しく動作しなくなります。RDプロテクションリセットを実行すると、モーターとリンク部の接続が回復し、リアディレーラーがRDプロテクションから復旧します。

1



アシスト
X
Y

00:00 100%
RD protection reset
OK
Cancel

アシストスイッチのXまたはYを押して[OK]を選択します。

項目	内容
[OK]	RDプロテクションリセットを実行します。
[Cancel]	RDプロテクションリセットを実行しない場合は、[Cancel]を選択します。

2



アシスト
A

機能ボタン

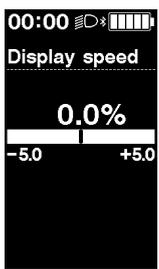
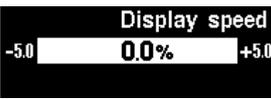
00:00 100%
RD protection reset

アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押してRDプロテクションリセットを実行します。その後、クランクを回してモーターとリンク部の接続を回復させてください。

■ [Display speed] 表示速度の調整 (SC-E6100/SC-E7000)

サイクルコンピューターに表示される速度と、お使いの他の機器での速度表示に誤差がある場合に表示速度を調整します。

サイクルコンピューター側の表示を調整した場合、表示の速度より実際の速度が速い場合があります。制限速度がある場合はご注意ください。

1	<p>アシスト</p>  <p>X</p> <p>Y</p>	<p>アシストスイッチのXまたはYを押して数値を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> アシストスイッチのXを押して数値を大きくすると、速度の表示数値が大きくなります。 アシストスイッチのYを押して数値を小さくすると、速度の表示数値が小さくなります。
	<p>< SC-E6100 ></p>  <p>< SC-E7000 ></p> 	

2	<p>アシスト</p>  <p>A</p> <p>機能ボタン</p>	<p>アシストスイッチのAまたは機能ボタンを押して、設定を確定させます。</p> <p>* ディスプレイ表示は自動的に設定メニューに戻ります。</p>
---	---	---

■ [Exit] 設定メニュー画面の終了

基本画面に戻ります。

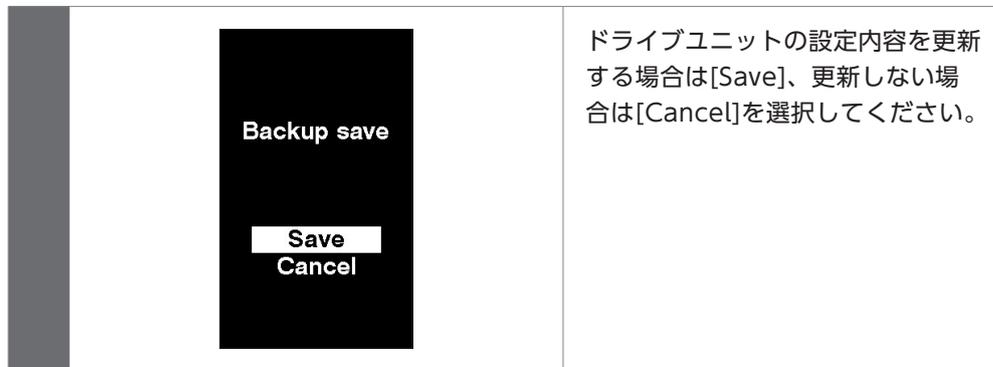
- 1 アシストスイッチのXまたはYを押して設定メニュー画面から[Exit]を選択します。
- 2 アシストスイッチのAを押すと基本画面に戻ります。

■ ドライブユニット設定内容のバックアップ (SC-E6010)

サイクルコンピューターにはドライブユニットの設定内容を自動的にバックアップする機能があります。

ただし、下記の場合にはサイクルコンピューターの電源をONにしたときにバックアップデータを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定の異なる自転車にサイクルコンピューターを付け替えた場合
- E-TUBE PROJECTでドライブユニットの設定を変更した場合



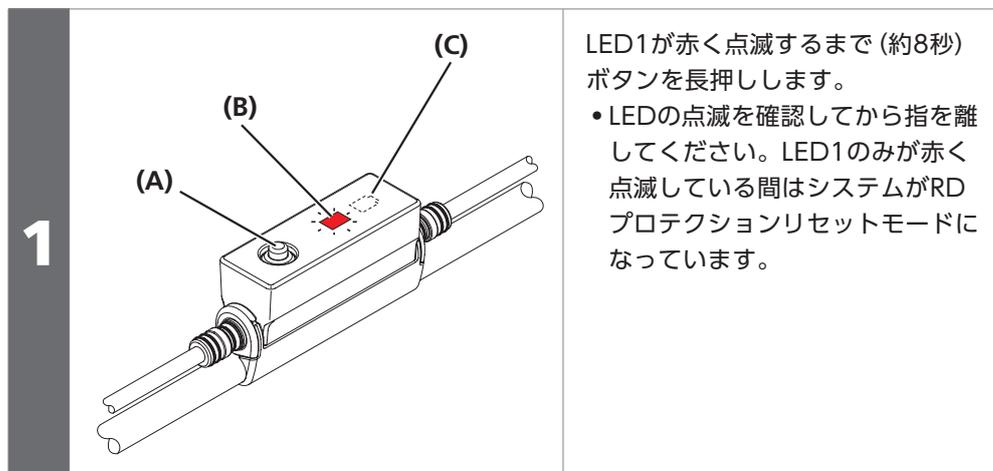
サイクルコンピューターにドライブユニットの設定内容をバックアップしておくことで、ドライブユニットが故障した場合でもE-TUBE PROJECTを使用して設定内容を呼び出すことができます。

設定モード (EW-EN100)

自転車の走行中は、設定モードに切り替えることができません。

■ RD protection reset

転倒などからシステムを保護するため、リアディレーラーに強い衝撃を受けると、RDプロテクション機能が働きます。モーターとリンク部の接続が一時的に解除され、リアディレーラーが正しく動作しなくなります。RDプロテクションリセットを実行すると、モーターとリンク部の接続が回復し、リアディレーラーがRDプロテクションから復旧します。



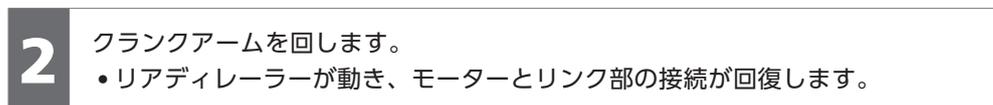
(A) ボタン

(B) LED1

(C) LED2

使用上の注意

あらかじめ自転車を整備スタンドに固定するなどして、リアホイールが自由に回転可能な状態にしてください。



■ Adjust

電動変速リアディレラーの変速調整をします。

- 設定にはシフトスイッチとして設定されたスイッチユニットが必要です。

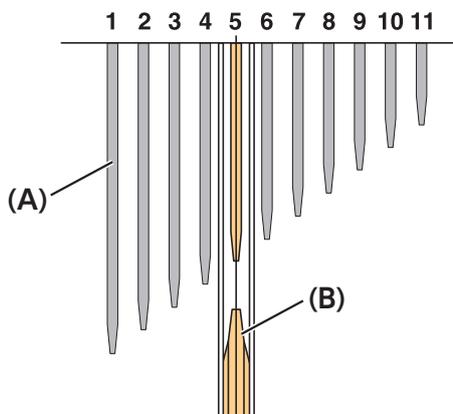
主電源をONにします。

1

使用上の注意

- あらかじめ自転車を整備スタンドに固定するなどして、リアホイールが自由に回転可能な状態にしてください。
- 調整作業は変速に違和感がある場合にのみおこなってください。正常な状態で不要な調整作業をおこなうと、変速性能が劣化します。

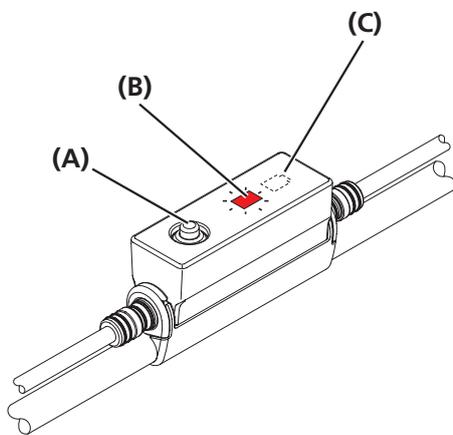
2



リアディレラーを最大スプロケットから5枚目のギア位置に変速させます。

- (A) 最大スプロケット
- (B) ガイドプーリー

3



LED1が赤く点灯するまで(約5秒)ボタンを長押しします。

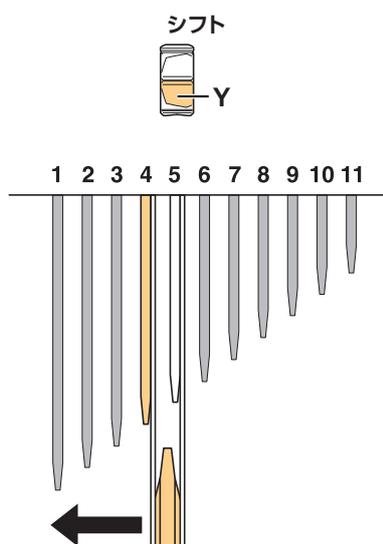
- LED1の点灯を確認してから指を離してください。LED1のみが赤く点灯している間は、システムがAdjustモードになっています。

- (A) ボタン
- (B) LED1
- (C) LED2

使用上の注意

LED1が赤く点灯した後、さらにボタンを押し続けるとLED1が赤く点滅し、RDプロテクションリセットが作動しますので、ご注意ください。

4



クランクを回しながら、シフト-Yを押してガイドプーリーを最大スプロケット側に移動させます。

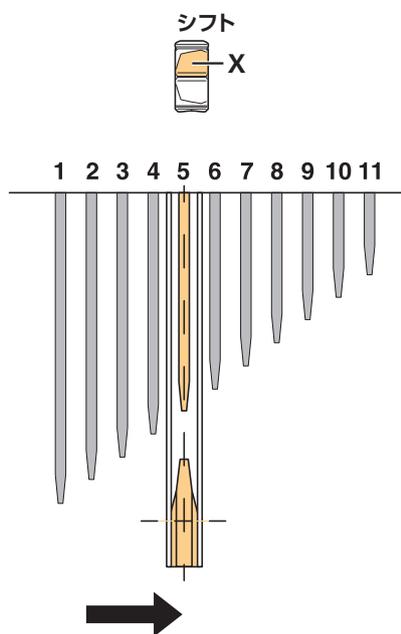
- チェーンが4枚目のギアと接触してかすかに音が出る位置まで移動させてください。



TECH TIPS

初期位置から内側へ16段階、外側へ16段階、合計33段階の調整が可能です。

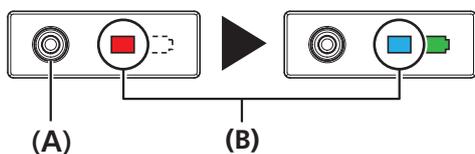
5



シフト-Xを5回押し、ガイドプーリーを最小スプロケット側へ5段階移動させます。

- この位置が、調整の目安になります。

6



EW-EN100のボタンを押します。

- 調整の変更が確定され、アジャストモードが終了します。

(A) ボタン

(B) LED1

7

- クランクを回しながらシフト-Xおよびシフト-Yを押して変速操作を試します。
- 微調整が必要な場合は手順3に戻り、リアディレーラーの調整を繰り返します。

サイクルコンピューターのエラーメッセージ

■ 警告

<p>< SC-E7000 ></p> 	<p>状況が解消すると、この表示は消えます。 状況が回復しない場合は、代理店へご相談ください。</p>
<p>< SC-E6010 ></p>  <p>< SC-E6100 ></p> 	

コード	表示条件	警告表示中の動作制限	対処方法
W010	ドライブユニットが通常動作時よりも高温になっています。	アシスト力が通常より低下します。	ドライブユニットの温度が低下するまで、アシスト走行を中止してください。
W011	走行速度が検出できていません。	アシスト上限速度が通常より低下します。	以下を確認してください。 ・スピードセンサーが正規の位置に取付けられているか。 ・ディスクブレーキローター付属のマグネットは外れていないか。 マグネットの付け戻し手順は基本作業書のディスクブレーキの項目をご参照ください。
W013	トルクセンサーの初期化が正常に完了しませんでした。	アシスト力が通常より低下します。	ペダルに足を載せずにバッテリーの電源ボタンを押して電源を入れ直してください。
W020	温度が動作保証範囲を超えた場合、バッテリーの出力を停止します。	全てのシステム機能が起動しません。	放電可能温度を上回っている場合は、直射日光を避けた涼しい場所で、バッテリー内部温度が十分下がるまで放置してください。放電可能温度を下回っている場合は、室内等で内部温度が適温になるまで放置してください。
W032	システムの設定と異なる変速機が取付けられています。	変速ができません。	システムで設定されている変速機に付け替えてください。または、E-TUBE PROJECTで、現在のシステム状態を確認してください。

■ エラー

<p>< SC-E7000 ></p> 	<p>画面全体にエラー表示が出た場合、下記いずれかの方法で表示をリセットしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの電源スイッチを押す。 • バッテリーをホルダーから外す。
<p>< SC-E6010/SC-E6100 ></p> 	

使用上の注意

再度電源をONにしても状況が回復しない場合は、代理店へご相談ください。

コード	表示条件	エラー表示中の動作制限	対処方法
E010	システム異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	バッテリーの電源ボタンを押して電源を入れ直してください。
E013	ドライブユニットのファームウェアに異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	代理店へご相談ください。
E014	スピードセンサーの取付位置が誤っている可能性があります。	アシスト走行ができません。	スピードセンサーが正規の位置に取付けられているかどうか確認してください。 正規の位置でない場合は正規の位置に取付け、しばらく走行することでエラーが解消されます。
E020	バッテリーとドライブユニット間の通信異常が検出されました。	アシスト走行ができません。	ドライブユニットとバッテリー間のエレクトリックワイヤーが正しく接続されているか確認してください。 状況が回復しない場合は、代理店へご相談ください。
E021	ドライブユニットに接続されているバッテリーはシステム標準に準拠していませんが非対応製品です。	アシスト走行ができません。	バッテリーの電源ボタンを押して電源を入れ直してください。
E022	ドライブユニットに接続されているバッテリーがシステム標準に準拠していません。	全てのシステム機能が起動しません。	バッテリーの電源ボタンを押して電源を入れ直してください。
E023	バッテリー内部の電気異常	全てのシステム機能が起動しません。	充電器をバッテリーに接続してから充電器を取外します。電源ボタンは必ずバッテリーが接続された状態で押してください。 バッテリー単体でエラー表示された場合、またはサイクルコンピューターにE023が表示された場合は代理店に問い合わせてください。

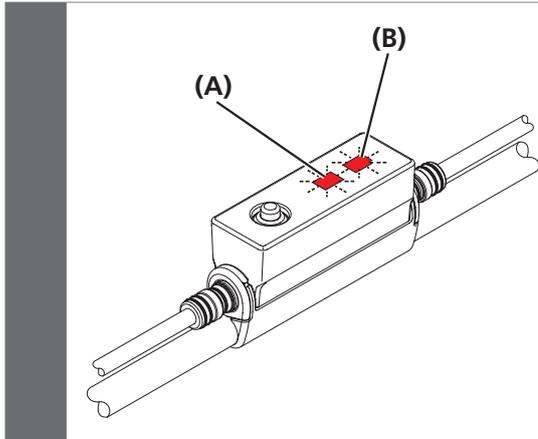
コード	表示条件	エラー表示中の動作制限	対処方法
E024	自転車システムとの通信異常	全てのシステム機能が起動しません。	ケーブルが抜けていないか、配線が間違っていないかを確認してください。
E025	正規のドライブユニットが接続されていない場合に表示されます。 ケーブルが一部断線している場合に表示されます。	全てのシステム機能が起動しません。	正規のバッテリーとドライブユニットを接続させてください。 ケーブルの状態を確認してください。
E033	現在のファームウェアは本システムに対応していません。	アシスト走行ができません。	E-TUBE PROJECTを接続し、アシスト自転車の全ユニットのファームウェアを最新バージョンにアップデートしてください。
E043	サイクルコンピューターのファームウェアの一部が壊れている可能性があります。	アシスト走行ができません。	代理店へご相談ください。

■ メンテナンスアラート (SC-E6100/SC-E7000)

<p>< SC-E6100 ></p> 	<p>ユーザーに自転車のメンテナンス時期を通知します。設定した積算距離や日付に達すると、サイクルコンピューターの画面上にアイコンを表示します。この設定をおこなうにはE-TUBE PROJECTへの接続が必要です。詳細はE-TUBE PROJECTのユーザーマニュアルを参照してください。</p>
<p>< SC-E7000 ></p> 	

EW-EN100のエラー表示

エラーが発生したとき、EW-EN100の2つのLEDが同時に赤色で速く点滅します。



この状態になったら、下記のいずれかの方法で表示をリセットしてください。

- バッテリーの電源スイッチを押して電源をOFFにする。
- バッテリーをホルダーから外す。

再度電源をONにしても状況が回復しない場合は、代理店へご相談ください。

(A) LED1

(B) LED2

6章 端末との接続通信

端末との接続通信

SHIMANO STEPS E8080シリーズの設定やファームウェアアップデートをおこなうには、E-TUBE PROJECTが必要です。

サポートサイト (<https://bike.shimano.com/e-tube/project.html>) にアクセスし、E-TUBE PROJECTをダウンロードしてください。

E-TUBE PROJECTのインストール方法はサポートサイトをご確認ください。

使用上の注意

- SHIMANO STEPS E8080シリーズをPCと接続するには、SM-PCE02が必要です。また、以下の場合にはSM-JC40/SM-JC41が必要になります。
 - 電動変速を採用している場合など、サイクルコンピューターのE-TUBEポートに空きが無い場合
 - SW-E6000/SW-E6010単体をPCに接続する場合
- ファームウェアは予告なく変更される場合があります。
- バッテリー充電中はPCとの接続通信はできません。

■ ワイヤレスユニットについて (機能)

ANT接続 (SC-E7000/SC-E6100)

ワイヤレスユニットは、サイクルコンピューターの基本画面に表示される情報を全て外部機器に送信することができます。



TECH TIPS

E-TUBE PROJECT経由でソフトウェアをアップデートすることで最新の機能を確認できます。詳細については、販売店へお問い合わせください。

Bluetooth® LE接続 (SC-E7000/SC-E6100/EW-EN100)

ワイヤレスユニットは、サイクルコンピューターの基本画面に表示される情報を全て外部機器に送信することができます。

Bluetooth® LEでスマートフォン、またはタブレット端末と接続すると、スマートフォン/タブレット端末向けE-TUBE PROJECTが使用できます。また、E-TUBE RIDEを使用することで、EW-EN100を使用している場合もBluetooth® LEで接続したスマートフォンから走行情報を確認することができます。

■ ワイヤレスユニットについて (接続方法)

ANT接続 (SC-E7000/SC-E6100/EW-EN100)

SHIMANO STEPSの主電源がONになると、いつでも通信を受付けることが可能です。外部機器を接続モードに切り替えて接続してください。

Bluetooth® LE接続 (SC-E7000/SC-E6100/EW-EN100)

下記の条件でのみ通信を受付けることが可能です。あらかじめ外部機器を接続モードに切り替えてください。

- SHIMANO STEPSの主電源をONにしてから15秒間
- SHIMANO STEPSの電源ボタンを除くいずれかのボタン操作後15秒間

■ 2.4 GHzのデジタルワイヤレスシステム

周波数2.4 GHzのデジタルワイヤレス技術は、ワイヤレスLANと同じ技術が使用されています。非常にまれなケースですが、強力な電磁波や電磁干渉によって通信に影響を受ける場合があります。

- テレビ、PC、ラジオ、モーター/エンジン、または自動車内や電車内。
- 鉄道の踏切や線路、テレビの放送基地やレーダー基地の近所。
- 他のワイヤレスコンピューターやデジタル制御ライト。

■ サイクルコンピューターのドライブユニット設定バックアップ機能について

サイクルコンピューターにバックアップされたドライブユニットの設定内容を確認する場合は、E-TUBE PROJECTの[ユニットログ取得]メニューからPDF形式のレポートを書き出すことができます。ドライブユニット交換の際は、購入された販売店または代理店に、ドライブユニットとともにレポートを送付してください。

■ E-TUBE PROJECTで設定変更可能な項目

< SC-E6010 >

ドライブ ユニット設定	その他の機能	ライト有り/無しの設定を変更します。
ディスプレイ の設定	表示単位	km表示とmile表示を切り替えます。
	時刻設定	時刻を設定します。
	バックライト設定	サイクルコンピューターのバックライトのON/OFFを設定します。
	バックライト 輝度設定	バックライトの輝度を調整できます。
	ビープ設定	ビープ音のON/OFFを切り替えます。
	表示言語	英語/フランス語/ドイツ語/オランダ語/スペイン語/イタリア語から表示言語を選択します。
	フォントカラー	サイクルコンピューターの表示文字色を黒または白から選択します。
表示の切り替え	走行時間、平均速度、最大速度、ケイデンス (クランク回転数)、および走行可能距離一覧のそれぞれの項目を表示するかどうかを選択できます。	

その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> • エラーチェック • ファームウェアアップデート • プリセット • ユニットログ取得 <p>* 詳しくはE-TUBE PROJECTをダウンロードの上、付属のマニュアルをご確認ください。</p>
--------	--

< SC-E6100/SC-E7000 >

スイッチ機能設定	スイッチユニットの各操作スイッチの機能割り当てを設定します。	
ドライブ ユニット設定	ライト接続	ドライブユニットにライトを接続しているかどうかを設定します。
	変速タイミング *1	オート変速時の変速タイミングを調整します。 変速アドバイスの表示タイミングの設定を兼ねています。
	変速アドバイス *2	マニュアル変速時、変速推奨タイミングをサイクルコンピューターの表示で知らせるかどうかを設定します。
	表示速度	サイクルコンピューターに表示される速度と、お使いの他の機器での速度表示に誤差がある場合に表示速度を調整します。
	ライディング特性	ドライブユニットの出力特性を選択します。
	最大アシスト速度	設定した速度までアシストをおこないます。使用する国により、法規によって最大アシスト速度は決められています。
	メンテナンスアラート	積算距離や日付を設定し、サイクルコンピューターにアイコンを表示させることでユーザーにメンテナンス時期を通知します。
ディスプレイ 表示設定	表示単位	Km表示とmile表示を切り替えます。
	時刻設定	サイクルコンピューターの時刻表示を設定します。
	バックライト設定	ディスプレイのバックライトをON/OFFします。
	バックライト輝度設定	ディスプレイの明るさを設定します。
	ビープ設定	操作音をON/OFFします。
	表示言語	表示言語を設定します。
	フォントカラー設定	表示文字色を黒か白に切り替えます。
	走行情報表示	走行時間、平均速度、最大速度、ケイデンス(クランク回転数)、走行可能距離の項目の個々についてサイクルコンピューターで表示するかどうかを設定します。
多段変速設定 *3	スイッチユニットをシフトスイッチとして使用する場合に、スイッチの長押しで変速できる最大のギア段数を設定します。	
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> • エラーログ • ファームウェアアップデート • プリセット • ユニットログ取得 	

*1 電動変速の場合のみ

*2 電動変速で変速モードが[Manual]の場合のみ

*3 電動変速のリアディレーラー仕様のみ

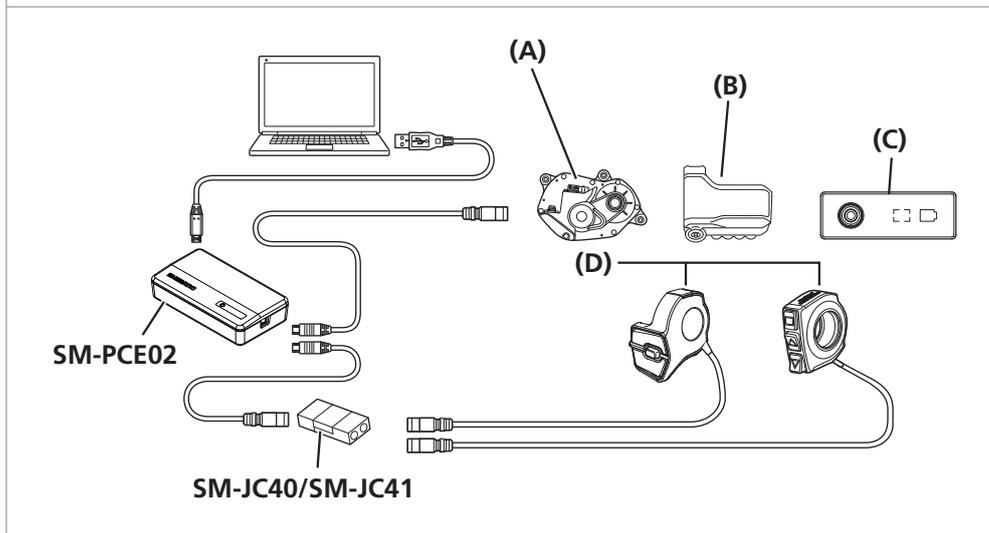
使用上の注意

SC-E6010のファームウェアアップデートをおこなうと、サイクルコンピューターに設定されている時刻がPCの時刻に合わせて再設定されます。

PCとの接続方法

■ ユニット単品でつなぐ場合

それぞれのユニットのコネクターへ、SM-PCE02を接続してください。



- (A) ドライブユニット
- (B) サイクルコンピューター
- (C) ジャンクション (A)
- (D) スイッチユニット

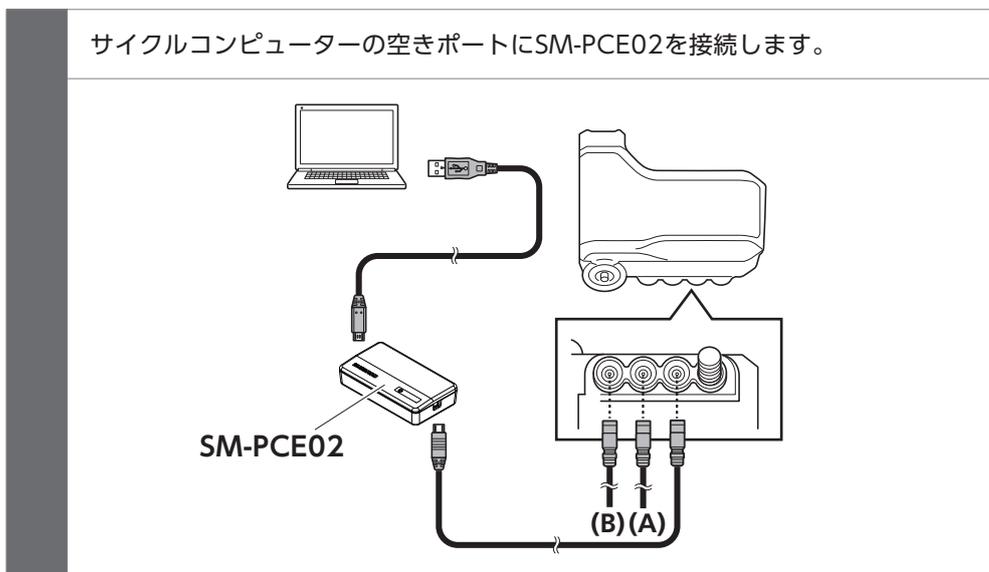
使用上の注意

- スイッチユニットを単品で接続する場合は、SM-JC40/SM-JC41が必要です。
- ワイヤレス接続では個別のユニットを接続できません。

■ 自転車への接続

< SC-E7000 >

サイクルコンピューターの空きポートにSM-PCE02を接続します。

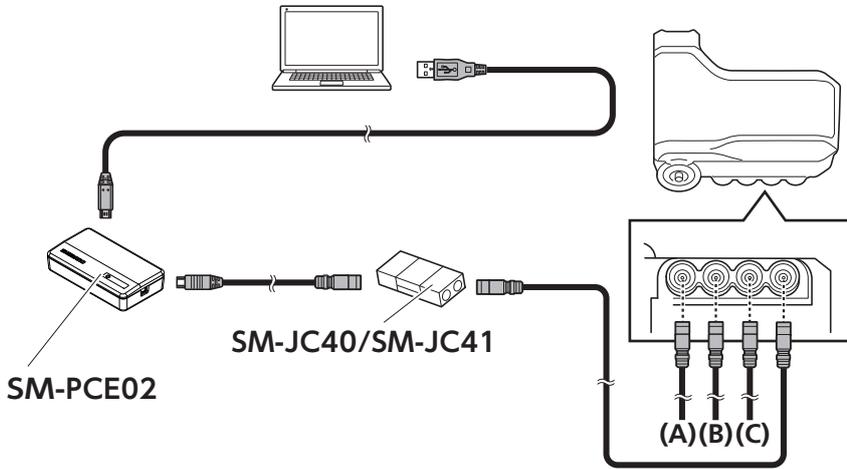


- (A) スイッチユニット
- (B) ドライブユニット

電動変速の場合

まず、SM-PCE02にSM-JC40/SM-JC41を接続します。

次にサイクルコンピューターの中央のポートからエレクトリックワイヤーを取外し、SM-JC40/SM-JC41に接続します。

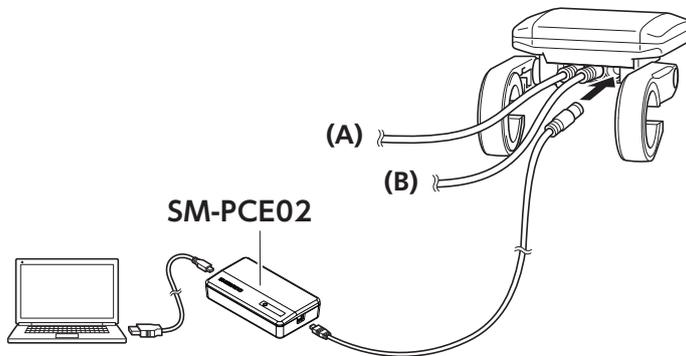


- (A) アシストスイッチ
- (B) ドライブユニット
- (C) シフトスイッチ

< SC-E6010/SC-E6100 >

< サイクルコンピューターに空きポートがある場合 >

サイクルコンピューターの空きポートにSM-PCE02を接続します。

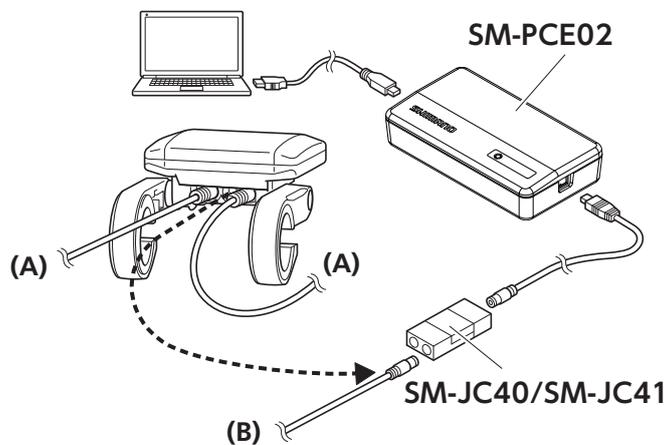


- (A) スイッチユニット
- (B) ドライブユニット

< サイクルコンピューターに空きポートがない場合 >

まず、SM-PCE02にSM-JC40/SM-JC41を接続します。
次にサイクルコンピューターの中央のポートからエレクトリックワイヤーを取
外し、SM-JC40/SM-JC41に接続します。

1

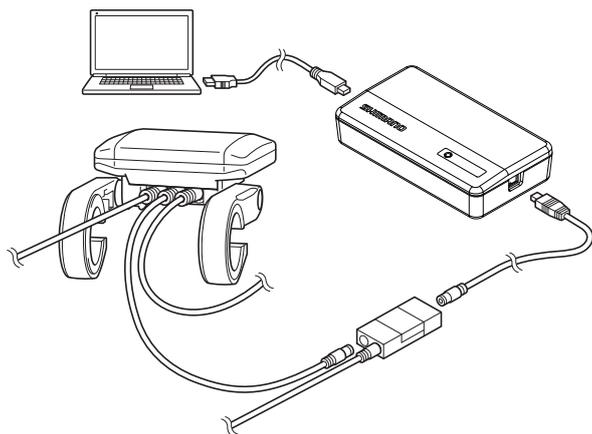


(A) スイッチユニット

(B) ドライブユニット

SM-JC40/SM-JC41の空きポートと、サイクルコンピューターの中央のポート
にエレクトリックワイヤーを接続します。

2



< EW-EN100 >

< ジャンクション (A) に空きポートがある場合 >

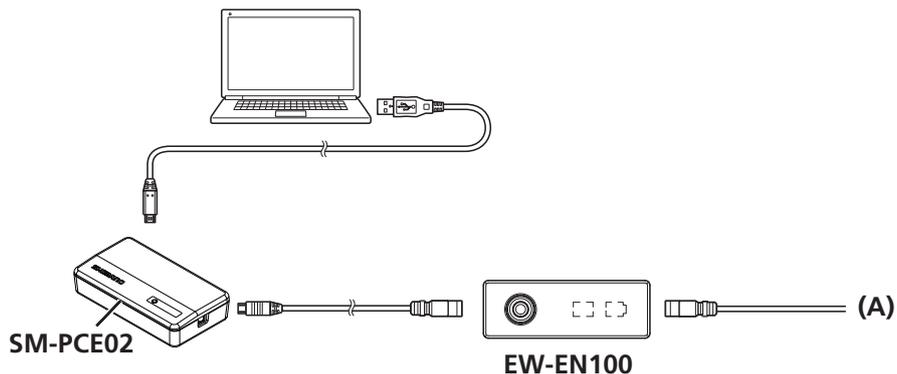
EW-EN100がドライブユニットの他に何も接続していない場合には、下記のように接続します。

1

EW-EN100の空きポートからダミープラグを取外します。

EW-EN100の空きポートとPC接続機器を接続します。

2



(A) ドライブユニット

< ジャンクション (A) に空きポートがない場合 >

スイッチユニットを接続していて、EW-EN100のE-TUBEポートに空きが無い場合、下記のように接続します。

1

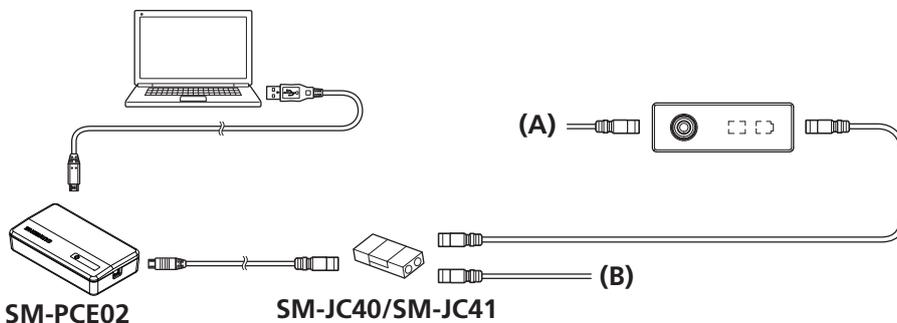
PC接続機器にSM-JC40/SM-JC41を接続します。

2

EW-EN100から、ドライブユニットと接続しているエレクトリックワイヤーを取外し、SM-JC40/SM-JC41に接続します。

3

EW-EN100の空きポートとSM-JC40/SM-JC41をエレクトリックワイヤーで接続します。



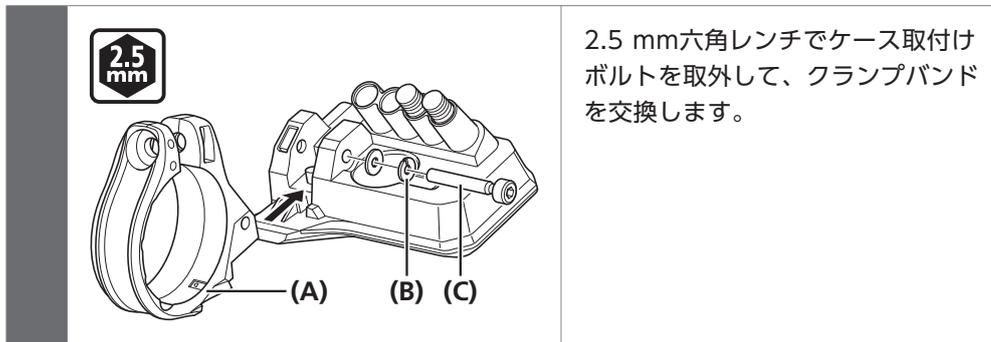
(A) スイッチユニット

(B) ドライブユニット

7章 メンテナンス

メンテナンス

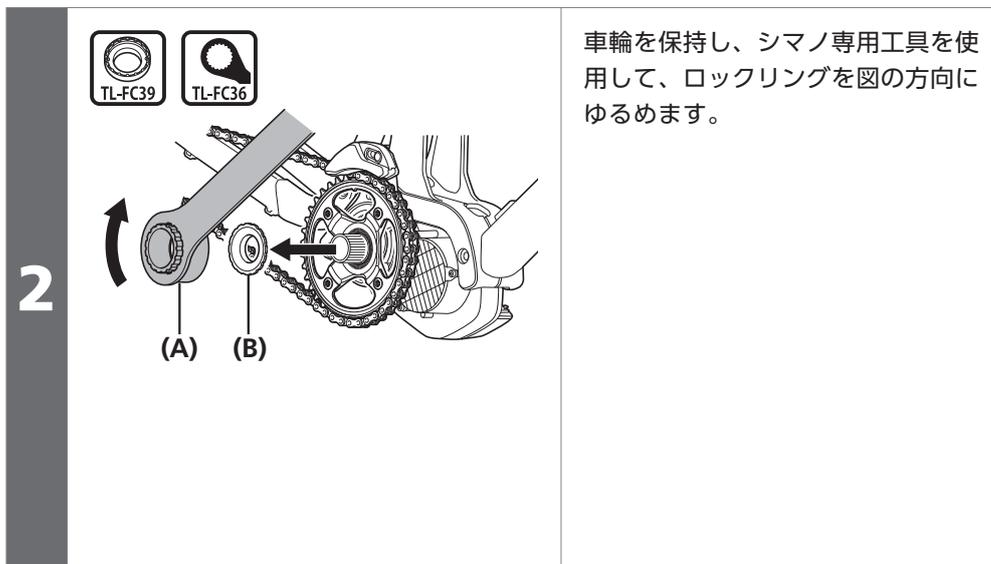
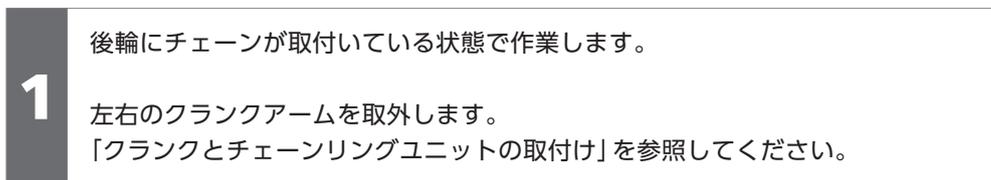
■ クランプバンドの交換 (SC-E7000)



- (A) クランプバンド
(B) ワッシャー
(C) ケース取付けボルト

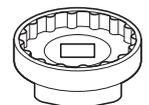
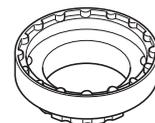
締付けトルク	
2.5 mm	0.6 N·m

■ チェーンリングユニットの交換

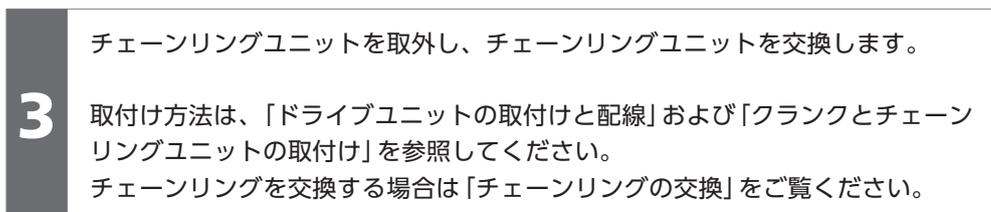


使用上の注意

- トルクレンチを使用する場合は、TL-FC39とTL-FC33を組合わせて使用してください。



- インパクトレンチを使用しないでください。



■ チェーンリングの交換

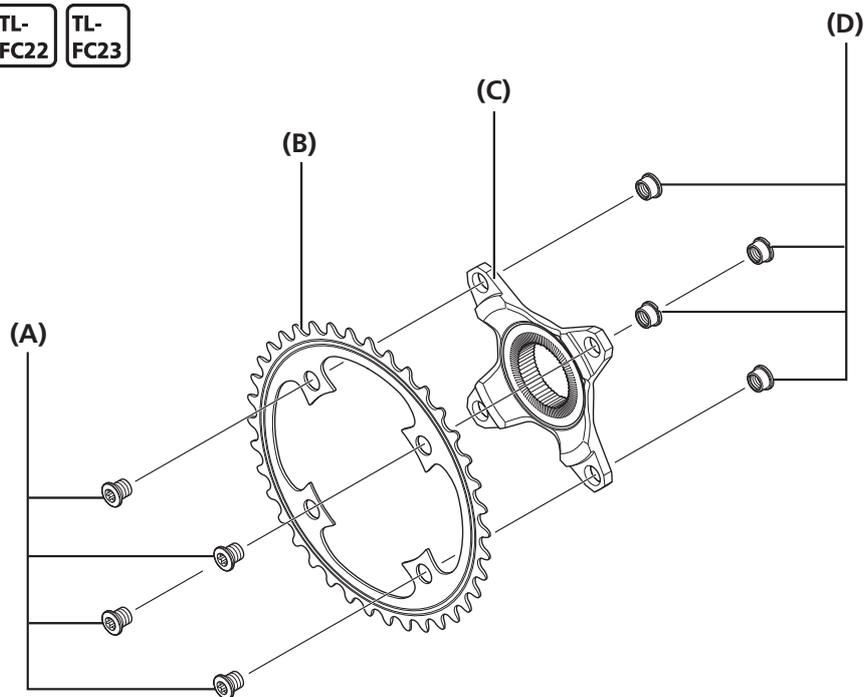
チェーンリングには向きがあります。

チェーンリングユニットの取外し方法は「チェーンリングユニットの交換」を参照してください。

1 チェーンリングユニットを取外します。

チェーンリングを取外し、新しいチェーンリングに交換します。

TL-FC22 TL-FC23



- (A) ギア取付けボルト
TL-FC23を使用します。
- (B) チェーンリング
- (C) 4アームアダプター
- (D) ギア取付けナット
TL-FC22を使用します。

締付けトルク

TL-FC23

12 - 14 N·m

使用上の注意

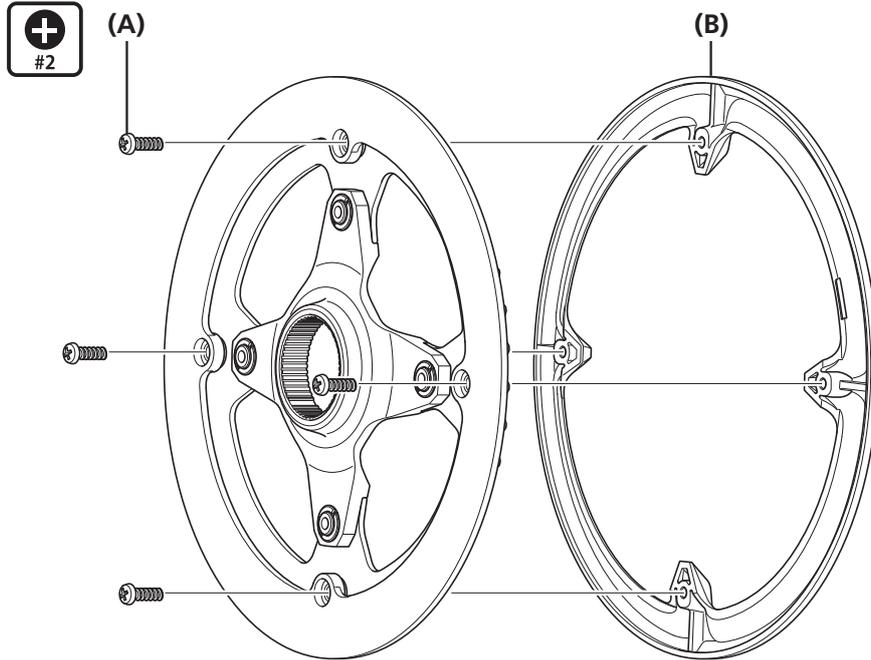
- チェーンリングは、「INSIDE」またはモデル名の印字が4アームアダプター側になるように取付けてください。



- ボルトは一気に締付けず、4個のボルトを均等に複数回に分けて締付けてください。

■ チェーンガードの交換 (SM-CRE80 44T ダブルチェーンガード)

図のようにチェーンガードを交換します。



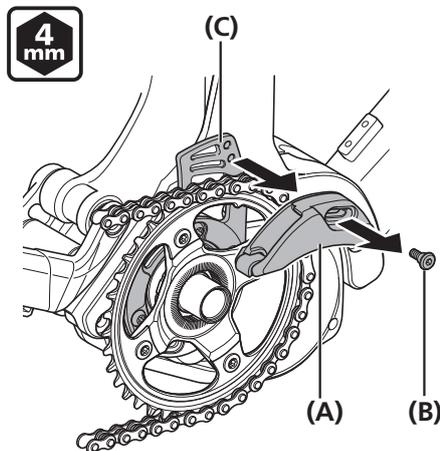
- (A) チェーンガード取付けボルト
- (B) チェーンガード

締付けトルク



0.7 N·m

■ チェーンデバイスのガイドの交換



ガイド取付けボルト (M5) をゆるめてバックプレートからガイドを取外して交換してください。

- (A) ガイド
- (B) ガイド取付けボルト (M5)
- (C) バックプレート

使用上の注意

SM-CRE80 (44T チェーンライン : 50 mm ダブルチェーンガード) は、チェーンデバイスを使用できません。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁目77番地